

NEC

P C 9 8 -

NX

活用ガイド ソフトウェア編

アプリケーションの
概要と削除/追加

他のOSを利用する

トラブル解決Q&A

PC98-**NX** シリーズ

Mate **NX**

(Windows NT 4.0 インストールモデル)

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

ご購入いただいたモデルによっては、下記以外にもマニュアルが添付されている場合があります。また、※印のマニュアルは、省スペース型モデルの場合は、電子化マニュアルをご覧になれます。詳しくは、『はじめにお読みください』「6. マニュアルの使用法」をご覧ください。

- ◆ 添付品の確認、本機の接続、Windows NT 4.0のセットアップ
→ 『はじめにお読みください』
- ◆ 本機を安全に使うための情報
→ 『安全にお使いいただくために』
- ◆ Windows NT 4.0の基礎知識、基本的な操作方法
→ 『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』
- ◆ 本機の各部の名称・機能、システム設定(BIOS設定)、SCSIの設定
→ 『活用ガイド ハードウェア編』 ※
- ◆ MA46H/Sのシステム設定(BIOS設定)
→ 『本機をお使いの方へ』

このマニュアルです

- ◆ 本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、他のOSのセットアップ
→ 『活用ガイド ソフトウェア編』 ※
- ◆ トラブル解決方法
→ 『活用ガイド ソフトウェア編』 ※
- ◆ 再セットアップ方法
→ 『活用ガイド 再セットアップ編』
- ◆ 本機の機能を拡張する内蔵機器の取り付け方、内部構造の説明
→ 『ハードウェア拡張ガイド』 ※
- ◆ ATコマンドについて
→ 『ATコマンド』(電子化マニュアル)
- ◆ ディスプレイの利用方法
→ 液晶ディスプレイ、CRTディスプレイがあり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。
- ◆ 選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)の利用方法
→ Office 2000 Personal、Office 2000 Professional、一太郎10・花子10バック& 1-2-3 2000があり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。
- ◆ ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンスとサポート情報の紹介
→ 『メンテナンス&サポートのご案内』
- ◆ パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサービス網の紹介
→ 『NEC PCあんしんサポートガイド』

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。
<http://www.microsoft.com/japan/info/press/>



はじめに

このマニュアルは、本機にあらかじめインストールされているアプリケーション、添付されているアプリケーションの削除/追加、他のOSのセットアップ方法、さまざまなトラブルの解決、対応方法を説明しています。

このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windows NT の基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それら进行操作するためのマウスの基本的な動作が一通りでき、Windows NTもしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。

もし、あなたがコンピュータにはじめて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などで一通り経験してから、このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

仕様についての詳細は『活用ガイド ハードウェア編』の「PART4 付録」をご覧ください。

1999年 10月 初版
2000年 1月 二版

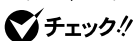
このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



トラブル事例を示しています。



チェック!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルで使用している表記の意味

本機	次の機種を指します。 PC98-NX シリーズ Mate NX (Windows NT 4.0インストールモデル) 本機がどのモデルに該当するかは型番を調べればわかります。 型番の読み方については、『はじめにお読みください』をご覧ください。
本体	ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないPC98-NX シリーズ Mate NX(Windows NT 4.0インストールモデル)を指し ます。
NetPCモデル	フロッピーディスクドライブおよびCD-ROMドライブがない状 態でご購入いただいたモデルです。
ディスプレイセット モデル	CRTディスプレイまたは液晶ディスプレイとセットでご購入い ただいたモデルです。
アプリケーションなし モデル	選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェ ア)がない状態でご購入いただいたモデルです。
Office 2000 Personal モデル	Office 2000 Personalがインストールされた状態でご購入いた だいたモデルです。
Office 2000 Professional モデル	Office 2000 Professionalがインストールされた状態でご購入いた だいたモデルです。

一太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000モデル	一太郎10・花子10パックとロータス1-2-3 2000がインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
「スタート」ボタン→ 「設定」→ 「コントロールパネル」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
『 』	『 』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows NT、 Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 および Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0
Windows NT Workstation 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
Windows NT Server 4.0	Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 および Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版
Windows 98 Second Edition	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal (Microsoft Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft / Shogakukan Bookshelf® Basic)
Office 2000 Professional	Microsoft® Office 2000 Professional (Microsoft® Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft PowerPoint® 2000、Microsoft Access 2000、Microsoft Publisher 2000、Microsoft / Shogakukan Bookshelf® Basic 2.0)
一太郎10・花子10パック	一太郎10・花子10パック (一太郎10、花子10、三四郎9、ATOK13)
1-2-3 2000	ロータス1-2-3 2000
MS-IME 2000	Microsoft® IME 2000

MS-IME 98	Microsoft® IME 98
Internet Explorer 5	Microsoft® Internet Explorer 5
Internet Explorer 4.01	Microsoft® Internet Explorer 4.01
スーパーディスク	Super Disk™

◆このマニュアルで使用している画面

- ・このマニュアルに記載のイラストと画面は、実際のものとは多少異なることがあります。
-

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されていません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows NT Workstation 4.0および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご利用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、Bookshelf、Windows MediaおよびWindows、Windows NTのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎10・花子10パック」「一太郎8」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎10・花子10パック」「一太郎8」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。

1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

pcANYWHERE32およびpcAnywhereは、Symantec Corporationの米国における登録商標です。

Intel、PentiumおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジーを使用しています。

Savage4はS3社の商標です。

YAMAHAは、ヤマハ株式会社の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

SuperDisk、SuperDiskロゴは、米国イメージョン社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1999, 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

このマニュアルの構成・読み方

このマニュアルはPART1からPART3までの構成となっていますが、PART1から順に読んでいく必要はありません。

『はじめにお読みください』でセットアップが完了しましたら、必要に応じてこのマニュアルを活用してください。

また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載しています。

索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容(☑チェック!!)、用語(💡💡)、メモ(メモ)を検索するのに都合の良い言葉を選んでいきます。

目次

索引

PART1 アプリケーションの概要と削除/追加

各アプリケーションソフトウェアの概要と削除及び追加の方法について説明しています。

PART2 他のOSを利用する

別売のWindows NT Server 4.0 日本語版およびWindows 98日本語版をセットアップする手順について説明しています。

PART3 トラブル解決Q&A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたとき、何か疑問があるときはここを読んでください。

はじめに	3
このマニュアルの表記について	4
ご注意	7
このマニュアルの構成・読み方	8
目次(このページです)	9
索引	14

アプリケーションの概要と削除/追加 17

この章の構成	18
ヘルプについて	18
概要について	19
削除について	19
追加について	21
「マイクロソフト ウィンドウズ NT サービス パック 5」について ...	22
知っておきたい便利な機能とアプリケーション	24
Office 2000 Personal(Office 2000 Personalモデルのみ)	26
概要	26
削除	26
追加	28
Office 2000 Professional(Office 2000 Professionalモデルのみ) 31	
概要	31
削除	31
追加	34
一太郎10・花子10パック	
(一太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000モデルのみ)	38
概要	38
削除	38
追加	38
ロータス1-2-3 2000	
(一太郎10・花子10パック& 1-2-3 2000モデルのみ)	39
概要	39
削除	39
追加	40
Internet Explorer 4.01	41

概要	41
削除	42
追加	44
最新のコンポーネントを追加する	47
その他	47
Internet Explorer 5	48
概要	48
削除	49
追加	50
Outlook Express (Mail & News)	53
概要	53
削除	54
追加	55
Microsoft NetMeeting	56
概要	56
削除	57
追加	58
VirusScan for Windows NT	59
概要	59
使用上の注意	60
削除	62
追加	62
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)	63
概要	63
削除	64
追加	65
pcAnywhere 9.0 EX	67
概要	67
削除	68
追加	69
Masty Data Backup	70
概要	70
削除	71

追加	72
CyberAccess	73
概要	73
削除	74
追加	75
Timer-NX	78
概要	78
削除	79
追加	79
NEC Soft MPEG1.0	81
概要	81
削除	82
追加	83
文豪DP/LANシリーズコンバータ	84
概要	84
削除	85
追加	86
Acrobat Reader 3.0J	87
概要	87
削除	87
追加	88
液晶ディスプレイ調整ツール	89
概要	89
削除	90
追加	91
Easy CD Creator Lite	93
概要	93
削除	93
追加	94
DirectCD	96
概要	96
削除	96
追加	97

他のOSを利用する 99

Windows NT Server 4.0を利用する	100
Windows NT Server 4.0をセットアップする前に	100
Windows NT Server 4.0のセットアップ	103
本機でWindows NT Server 4.0を利用するときの注意	123
スーパーディスク3モード対応ドライバと 専用フォーマットユーティリティについて	123
Windows 98を利用する	124
Windows 98をセットアップする前に	124
Windows 98のセットアップ	128
電源管理モードの利用 (APM/ACPIモード)	167

トラブル解決 Q&A 173

トラブルが起きたとき	174
トラブルを解決するには(ヒント)	175
お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)	178
電源を入れたが…	180
電源を切ろうとしたが…	184
サスペンド/レジューム機能を使おうとしたら…	186
パソコンがこわれそう…	187
画面がおかしい…	189
音がおかしい…	189
マウスを動かしても…	190
文字を入力しようとしたら…	191
ファイルを保存しようとしたら…	192
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続しようとしたら… ..	192
イベントビューアにエラーが…	194
印刷しようとしたら…	194
フロッピーディスクなどを使っていたら…	196
ハードディスクを使っていたら…	197
CD-ROMを使っていたら…	198
周辺機器を取り付けようとしたら…	200

アプリケーションを使っていたら… ..	200
その他	203
コンピュータウイルス対策について	206
トラブルを予防するには… ..	208
アフターケアについて	209

索引

ページ太字:説明や作業のあるページを指します。

ページ細字:図や文章に出てくるページを指します。

英数字

「_」(アンダースコア、アンダーバー)	191	Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Exten)	63
「~」(チルダ)	191	Internet Explorer 4.01	41, 58
1-2-3 2000	38, 39	Internet Explorer 5	48, 56, 58
1Gバイト	198	LAN	192
1Mバイト	198	LANシリーズ	84
2000年問題	203	Mail & News	53
98AP情報	203	Masty Data Backup	70
ACPIモード	167	Microsoft FrontPage Express ...	41, 48
Acrobat Reader 3.0J	87	MPEGファイル	81
Administrator権限	18	MS-DOSモード	156, 159
APMモード	167	Music Control	42
CD-ROM	19, 198	NetMeeting	41, 42, 48, 56
CD-RW	93, 96, 192	Office 2000 Personal	26
Checking file system on X:	182	Office 2000 Professional	31
CyberAccess	73	OS	202
DirectCD	96	Outlook 2000	26
DP	84	Outlook Express	41, 53
Easy CD Creator Lite	93	PC-NF-U001	125
Excel 2000	26	PC-NF-U002	125
FAXモデムボード	145	pcAnywhere 9.0 EX	67
FrontPage Express	42, 43, 48	Readme	176
		S.M.A.R.T	70
		Sasuke	38

Setup Disk	100
Soft MPEG1.0	81
Timer-NX	78
Ultra SCSIインタフェースボード	165
USB98配列キーボードドライバ	136
VDOLivePlayer	42, 43
VirusScan for Windows NT	59
Web発行ウィザード 1.53	41
Web発行ウィザード 1.6	48
Windows 98	124
Windows NT Server 4.0	100
Word 2000	26

ア行

アイコン削除の準備	20
アフターケア	209
異臭	187
異常	187, 189
一太郎10	38
一太郎10・花子10パック	38
印刷	195
インストール	201
ウイルス監視機能	61, 60
液晶ディスプレイ調整ツール	89
エラーメッセージ	183
音飛び	199

カ行

海外	204
画面	181, 189

キーボード	191
キーボードエラー	183
記号	191
起動しない	182
強制的に電源を切る方法	186
共有	193
グラフィックセットアップ	112
煙	187
コンピュータウイルス	206

サ行

サービスパック 5	22
再入手方法	210
削除の準備	20
雑音	204
三四郎9	38
修復	210
周辺機器	200
消耗品	209
消耗部品	209
スーパーディスク	152, 196
西暦2000年問題	203
ソフトウェアパワーOFF	164

タ行

タイマ機能	78
断続音	183
追加の準備	21
電源	180
電池	204

添付品	210
問い合わせ	177
動画がとぎれる	199
トラブルチェックシート	178
トラブルを予防	208

ナ行

内蔵FAXモデムボード	145
入力できない文字	191

ハ行

廃棄	205
パスワード	184
バックアップ	70, 101
バックアップCD-ROM	100
花子10	38
被害届	207
表示位置	189
ヒント	175
ファイル	192
ファイルを保存	192
フリーズ	175
プリンタ	195
フロッピーディスク	196
文豪DP/LANシリーズコンバータ	84
ヘルプ	176
補修用性能部品	209
保守サービス	209

マ行

マウス	190
-----------	-----

マニュアルセンター	203
メンテナンス	208
文字コード表	191

ヤ行

ユーザパスワード	184
予防	208

ラ行

ロータス1-2-3 2000	39
ログオン	184

ワ行

割り込みレベル	200
---------------	-----

アプリケーションの概要と 削除/追加

本機に標準でインストールまたは添付されているアプリケーションの概要と削除方法および追加方法について説明します。削除や追加をする場合、Windows NT Workstationおよびインストールされているアプリケーションについての知識が必要になります。

この章の読み方

次ページの「この章の構成」と「知っておきたい便利な機能とアプリケーション」(P.24)を読んだ後に、各アプリケーションの概要と削除/追加をお読みください。

この章の内容

この章の構成	18
知っておきたい便利な機能とアプリケーション	24
Office 2000 Personal (Office 2000 Personalモデルのみ)	26
Office 2000 Professional (Office 2000 Professionalモデルのみ)	31
一太郎10・花子10パック(一太郎10・ 花子10パック & 1-2-3 2000モデルのみ)	38
ロータス 1-2-3 2000(一太郎10・ 花子10パック & 1-2-3 2000モデルのみ)	39
Internet Explorer 4.01	41
Internet Explorer 5	48
Outlook Express (Mail & News)	53
Microsoft NetMeeting	56

VirusScan for Windows NT	59
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)	63
pcAnywhere 9.0 EX	67
Masty Data Backup	70
CyberAccess	73
Timer-NX	78
NEC Soft MPEG1.0	81
文豪DP/LANシリーズコンバータ	84
Acrobat Reader 3.0J	87
液晶ディスプレイ調整ツール	89
Easy CD Creator Lite	93
DirectCD	96

この章の構成

この章では各アプリケーションの概要と削除、追加について説明します。



チェック!!

- ・各アプリケーションの削除と追加は、必ずAdministrator権限を持ったユーザでログインして行ってください。
- ・一部のアプリケーションは、CyberAccessがエキスパートモード、アドバンストモード以外のモードのときは、インストールできません。その場合は、エキスパートモードまたはアドバンストモードに変更してから追加を行ってください。

参照

「CyberAccess」(P.73)

- ・再セットアップの後に続けてアプリケーションの追加を行う場合は必ずWindows NTの再起動後に行ってください。
- ・各アプリケーションの削除と追加を行う前に、必ず「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」をお読みください。

メモ

Administrator権限とは、コンピュータの全体的な構成を管理するための管理者権限のことです。

Administrator権限を持つユーザでログインする方法が不明な場合、「ログオン情報」画面で「ユーザー名」に「Administrator」、「パスワード」に本機初回起動時にお客様が設定した管理者アカウントのパスワードを入力し、「ドメイン名」で初回起動時に設定したコンピュータ名を選択して「OK」ボタンをクリックします。ドメイン名は、ネットワークのインストールでドメインを設定した場合のみ表示されます。

ヘルプについて

各アプリケーションにはヘルプ機能があります。
用語、操作の方法や手順など、わからないことが起きたときに活用してください。

概要について

アプリケーションの概要、起動方法などについて説明します。

削除について

本機にあらかじめインストールされているアプリケーションまたは購入後インストールされた本機添付のアプリケーションの削除の手順を説明します。

ご自分でインストールされた別売のアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
次のような場合にアプリケーションを削除してください。

ハードディスクの空き容量を増やしたい場合。

通常使わないアプリケーションがある場合。

一部のアプリケーションでは、次の「削除の準備」を行ってから削除します。



チェック!!

- 削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認の上、削除してください。
- NetPCモデルでCD-ROMを使用して削除する場合は、あらかじめネットワーク上の任意のコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当ててください。
- CD-ROMを使用して削除する場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

削除の準備

コントロールパネルを使って削除する場合は、以下の手順を行ってください。

CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

- 1 Windows NTを起動する
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

この後、各アプリケーションの削除方法でアプリケーションを削除してください。



チェック!!

削除したとき、アプリケーションによってはディレクトリおよびデスクトップやスタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、本機を操作する上では支障ありません。

アイコン削除の準備

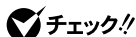
アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Windows NTエクスプローラ」をクリック
- 2 「表示」→「フォルダオプション」(Internet Explorer 5.0をご利用の場合は「オプション」)をクリック
- 3 「表示」タブをクリックし、「すべてのファイルを表示する」をクリック
- 4 「OK」ボタンをクリック
この後、各アプリケーションのアイコンを削除します。

追加について

添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)」から、本機にアプリケーションを追加する場合の手順を説明します。

一部のアプリケーションでは、下記の「追加の準備」を行ってから追加します。



チェック!

- NetPCモデルをお使いの場合は、あらかじめネットワーク上の任意のコンピュータのフロッピーディスクドライブ/CD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当ててください。
- なお、フロッピーディスクドライブはAドライブとして割り当ててください。
- 終了後にフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出してください。
- 終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

追加の準備

- 1 Windows NTを起動する
- 2 CD-ROMドライブに、添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする
- 3 フロッピーディスクドライブに、添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をセットする
- 4 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 5 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 6 「インストールと削除」タブの「インストール」ボタンをクリック
- 7 「次へ」ボタンをクリック
「A:\Nxsetup.exe」が表示されていることを確認します。
- 8 「完了」ボタンをクリック
追加するアプリケーションが表示されていることを確認します。
この後、各アプリケーションの追加方法でアプリケーションを追加してください。

「マイクロソフト ウィンドウズ NT サービス パック 5」について

本機には「マイクロソフト ウィンドウズ NT サービス パック 5」(以下サービス パック 5)がインストールされています。

サービスパック 5には、Windows NT 4.0出荷以降に発見された障害・問題の修正モジュールおよび新しく追加された機能が含まれています。

新しいコンポーネント (Windows NT 4.0のCD-ROMに入っているコンポーネント等)を追加または変更した場合は、再度サービス パック 5をインストールする必要があります。

サービス パック 5を再追加する場合は、以下の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Service Pack 5」の「Service Pack 5のインストール」をクリック
- 2 「サービスパック 5のインストール」画面が表示されるので、「インストール」ボタンをクリック
- 3 画面の指示に従って「Windows NT Service Packセットアップ」と「本機対応Windows NT 4.0 アップデート」を行う



チェック!!

- ・ファイルコピー中に「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか？」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択する
- ・本機に添付されていないアプリケーションやオプションボード等を追加される場合は、サービスパック 5への対応状況をご確認の上でお使いください。

- 4 「Windows NT Service Packセットアップ」と「本機対応Windows NT 4.0 アップデート」が完了したら、「OK」ボタンをクリック

自動的に再起動されます。再起動後、メッセージが表示された場合は、画面の指示に従ってください。

以上でサービス パック 5の追加は終了です。

サービスパック 5についての詳細は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「Service Pack 5」→「Service Pack 5について」をご覧ください。



チェック!!

サービスパック 5をインストールした後に、スクリーンセーバーをチャンネルスクリーンセーバーに設定すると、「アプリケーションエラーが発生しました。」というメッセージが表示され、スクリーンセーバーの実行に失敗することがあります。

スクリーンセーバーにチャンネルスクリーンセーバーを設定せずにご利用ください。

知っておきたい便利な機能と アプリケーション

機 能	工場出荷時の状態	アプリケーション	
文章を作成する HTMLを作成する	○	Word 2000または一太郎 10	(☆)
表計算する	○	Excel 2000、三四郎9または 1-2-3 2000	(☆)
図形処理する	○	Draw 98または花子10	(☆)
予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 社内にメールを発信する	○	Outlook 2000またはSasuke	(☆)
プレゼンテーションや企画書を作成 する	○	PowerPoint 2000	(☆)
データベースを作成する	○	Access 2000	(☆)
印刷物やWebページを作成する	○	Publisher 2000	(☆)
販売会計ソフトやOutlookの情報から、 取引の動向や実績を分析する	○	顧客データマネージャ2000	(☆)
会社経営のノウハウやビジネス用語 を調べる	○	Business Planner	(☆)
インターネットへ接続する ソフトウェアをダウンロードする 電子メールを送受信する インターネットの情報を管理する	○	Internet Explorer 5 または 4.01 Outlook Express Shuriken	(☆)
利用者のレベルに合わせてOSの操作 可能な範囲を設定する	△	CyberAccess	
コンピュータウィルスを検出して除 去する	△	VirusScan for Windows NT	
タイマ機能を使う	△	Timer-NX	
遠隔地からパソコンを操作する	△	pcAnywhere 9.0 EX ※	
本機や本機に接続されているパソコ ンの情報を管理する	△	Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) ※	
データのバックアップをとる	△	Masty Data Backup ※	

機能	工場出荷時の状態	アプリケーション	
文豪DPシリーズ、LANシリーズで作成したデータを一太郎、三四郎で利用する	△	文豪DP/LANシリーズコンバータ	
pdf形式の電子マニュアルの表示、閲覧、印刷をする	△	Acrobat Reader 3.0J	
音楽CD、ビデオCDなどの音と画像を再生する	△	NEC SoftMPEG 1.0	
液晶ディスプレイの画面を調節する	△	液晶ディスプレイ調整ツール	
CD-RWにデータを保存する	△	Easy CD Creator Lite DirectCD	(☆) (☆)

○：工場出荷時にインストールされているアプリケーション

△：工場出荷時に添付されているアプリケーション

(☆)：ご使用のモデルによりアプリケーションが異なります。

※：MA46H/Lには添付されていません。

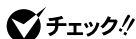


Office 2000 Personal (Office 2000 Personalモデルのみ)

概要

文章作成にWord 2000、表計算にExcel 2000、情報管理にOutlook 2000を使用します。

機能の詳細や操作方法については、添付のOffice 2000 Personalのマニュアルをご覧ください。



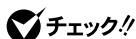
チェック!

- Word 2000またはExcel 2000の初回起動時に表示される「Microsoft Office 2000 ユーザー情報」の画面で、CDキーを入力してください。
- Outlook 2000の初回起動時に表示される「Outlook 2000スタートアップ」の「メール サービス オプション」画面では、「企業/ワークグループ」を選択してください。

削除

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000の削除

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行(P.20)
- 2 「インストールと削除」の画面の一覧から「Microsoft Office 2000 Personal」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Microsoft Office 2000メンテナンスモード」の画面で「機能の追加/削除」ボタンをクリック



チェック!

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000全部を削除する場合は、「Office の削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」をクリックし、手順6に進んでください。

- 4 削除したいアプリケーションの  をクリックし、「インストールしない」をクリック
- 5 「完了」ボタンをクリック
- 6 「Microsoft Office 2000 Personalのセットアップが正常に終了しました」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 7 本機を再起動する

MS-IME 2000の削除

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「キーボード」をダブルクリック
- 3 「言語」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリック
- 4 「言語の追加」画面から他の言語を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 5 「キーボードのプロパティ」画面で「Microsoft IME 2000」を選択し、「削除」ボタンをクリック
- 6 「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリック



チェック!!

メッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 CD-ROMドライブに「Office 2000 Personal」のCD-ROMをセットする
- 8 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 9 「インストールと削除」の画面の一覧から「Microsoft IME 2000」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリック

- 10 「すべて削除」をクリック
- 11 「本当にすべて削除しますか」のメッセージで「削除する」をクリック
- 12 「セットアップが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 13 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」をクリック自動的に再起動します。

追加

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000の追加

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。

- 1 CD-ROMドライブに「Office 2000 Personal」のCD-ROMをセットする
- 2 「Microsoft Office 2000へようこそ」の画面で必要事項を入力し、「次へ」をクリック

 **チェック!!** CDキーは「Office 2000 Personal」のCDケース裏面に記載されています。

- 3 「Microsoft Office 2000使用許諾とサポート情報」の画面で「使用許諾書」の条項に同意します」にチェックを付け、「次へ」をクリック
- 4 「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面で「カスタマイズ」をクリック
- 5 インストール先が「c:\Program Files\Microsoft Office\」となっていることを確認し、「次へ」をクリック
- 6 「Microsoft Internet Explorer 5.0 アップグレード」画面が表示された場合は、Windowsの更新で「Microsoft Internet Explorer をアップグレードしない」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

- 7 「Microsoft Office 2000 機能の選択」画面で「Microsoft Office」のをクリックし、「マイコンピュータからすべて実行」を選択
- 8 「完了」ボタンをクリック
- 9 「インストーラ情報」画面で「はい」ボタンをクリック
- 10 本機を再起動する

MS-IME 2000の追加

- 1 CD-ROMドライブに「Office 2000 Personal」のCD-ROMをセットする
「Microsoft Office 2000へようこそ」の画面が表示された場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 3 「名前」に「<CD-ROMドライブ名>:\MSIME\SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 4 「Microsoft IME 2000 へようこそ」の画面で「次へ」をクリック
- 5 「使用許諾契約書の確認」画面で「「使用許諾契約書」に同意します」にチェックを付け、「次へ」をクリック
- 6 「ユーザ情報の登録」画面に必要事項を入力し、「次へ」をクリック
- 7 「Microsoft IME 2000 インストールの準備が整いました」の画面で「カスタム」にチェックし、「次へ」をクリック
- 8 「オプション機能」のをクリックして「マイコンピュータからすべて実行」を選択し、「次へ」をクリック
- 9 「インストールしますか？」の画面で「インストール」をクリック

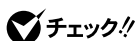
- 10** 「セットアップが完了しました」の画面で「OK」ボタンをクリック
- 11** 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。
- 12** 「Microsoft IME 2000へのユーザ情報の登録」の画面で登録する場合は「OK」ボタンをクリック
登録しない場合は「登録しない」ボタンをクリック
- 13** 「Microsoft IME 2000日本語入力システム」の画面が表示されたら  ボタンをクリック
- 14** 「スタート」ボタン→「シャットダウン」をクリック
- 15** 「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック

Office 2000 Professional (Office 2000 Professionalモデルのみ)

概要

文章作成にWord 2000、表計算にExcel 2000、情報管理にOutlook 2000、プレゼンテーションにPowerPoint 2000、データベース作成にAccess 2000、Webページ作成にPublisher 2000、取引の動向や実績の分析に顧客データマネージャ2000、会社経営のノウハウやビジネス用語を調べるのにBusiness Plannerを使用します。

機能の詳細や操作方法については、添付のOffice 2000 Professionalのマニュアルをご覧ください。



チェック!!

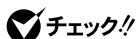
- ・初回起動時に「Microsoft Office 2000ユーザー情報」の画面が表示されたらCDキーを入力してください。
- ・Outlook 2000の初回起動時に表示される「Outlook 2000スタートアップ」の「メールサービスオプション」の画面では、「企業/ワークグループ」を選択してください。

削除

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000の削除

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行(P.20)
- 2 「インストールと削除」の画面の一覧から「Microsoft Office 2000 Professional」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック

3 「Microsoft Office 2000メンテナンスモード」の画面で「機能の追加/削除」ボタンをクリック



Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000 全部を削除する場合は、「Office の削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」をクリックし、手順6に進んでください。

4 削除したいアプリケーションの をクリックし、「インストールしない」をクリック

5 「完了」ボタンをクリック

6 「Microsoft Office 2000 Professionalのセットアップが正常に終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

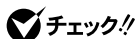
7 本機を再起動する

Publisher 2000、顧客データマネージャ2000、Business Plannerの削除

1 「削除の準備」の手順1～3を実行(P.20)

2 「インストールと削除」の画面の一覧から「Microsoft Office 2000 Disc2」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック

3 「Microsoft Office 2000メンテナンスモード」の画面で「機能の追加/削除」ボタンをクリック



Publisher 2000、顧客データマネージャ2000、Business Planner全部を削除する場合は、「Office の削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」をクリックし、手順6に進んでください。

4 削除したいアプリケーションの をクリックし、「インストールしない」をクリック

- 5 「完了」ボタンをクリック
- 6 「Microsoft Office 2000 Disc2のセットアップが正常に終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 7 本機を再起動する

MS-IME 2000の削除

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「キーボード」をダブルクリック
- 3 「言語」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリック
- 4 「言語の追加」画面から他の言語を選択して「OK」ボタンをクリック
- 5 「キーボードのプロパティ」の画面で「Microsoft IME 2000」を選択し「削除」ボタンをクリック
- 6 「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリック



チェック!

メッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 CD-ROMドライブに「Office 2000 Professional Disc1」のCD-ROMをセットする
- 8 「削除の準備」の手順1～3を実行する(P.20)
- 9 「セットアップと削除」の画面の一覧から「Microsoft IME 2000」を選択し、「削除と追加」ボタンをクリック
- 10 「すべて削除」をクリック
- 11 「本当にすべて削除しますか」と表示されたら「削除する」ボタンをクリック

- 12 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 13 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」をクリック
自動的に再起動します。

追加

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000の追加

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。

- 1 CD-ROMドライブに「Office 2000 Professional Disc1」のCD-ROMをセットする

- 2 「Microsoft Office 2000へようこそ」の画面で必要事項を入力し、「次へ」ボタンをクリック

 **チェック!** CDキーは「Office 2000 Professional」のCDケース裏面に記載されています。

- 3 「Microsoft Office 2000使用許諾とサポート情報」の画面で「「使用許諾書」の条項に同意します」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック

- 4 「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面で「カスタマイズ」をクリック

- 5 インストール先が「c:\Program Files\Microsoft Office\」となっていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

- 6 「Microsoft Internet Explorer 5.0 アップグレード」画面のWindowsの更新で「Microsoft Internet Explorer をアップグレードしない」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

- 7 「Microsoft Office 2000 機能の選択」の画面で「完了」ボタンをクリック

- 8 「インストーラ情報」の画面で「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

Publisher 2000、顧客データマネージャ2000、Business Plannerの追加

- 1 CD-ROMドライブに「Office 2000 Professional Disc2」の
CD-ROMをセットする

- 2 「Microsoft Office 2000へようこそ」の画面で必要事項を入力
し、「次へ」ボタンをクリック

 **チェック!** CDキーは「Office 2000 Professional」のCDケース裏面に記載されています。

- 3 「Microsoft Office 2000使用許諾とサポート情報」の画面で
「使用許諾書」の条項に同意します」にチェックを付け、「次へ」
ボタンをクリック

- 4 「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面で「カスタ
マイズ」をクリック

- 5 インストール先が「c:\Program Files\Microsoft Office\」と
なっていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

- 6 「Microsoft Internet Explorer 5.0 アップグレード」画面の
Windowsの更新で「Microsoft Internet Explorer をアップグレー
ドしない」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

- 7 「Microsoft Office 2000 機能の選択」の画面で「完了」ボタンを
クリック

- 8 「インストーラ情報」の画面で「はい」ボタンをクリック

- 9 本機を再起動する

MS-IME 2000の追加

- 1 CD-ROMドライブに「Office 2000 Professional Disc1」のCD-ROMをセットする
「Microsoft Office 2000へようこそ」の画面が表示された場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 3 「名前」に「<CD-ROMドライブ名>:\MSIME\SETUP.EXE」と入力し「OK」ボタンをクリック
- 4 「Microsoft IME 2000へようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 5 「使用許諾契約書の確認」の画面で「「使用許諾契約書」に同意します」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック
- 6 「ユーザ情報の登録」の画面に必要な事項を入力し「次へ」ボタンをクリック
- 7 「Microsoft IME 2000 インストールの準備が整いました」の画面で「カスタム」にチェックし「次へ」ボタンをクリック
- 8 「オプション機能」の  をクリックし「マイコンピュータからすべて実行」を選択し「次へ」ボタンをクリック
- 9 「インストールしますか？」の画面で「インストール」ボタンをクリック
- 10 「セットアップが完了しました」の画面で「OK」ボタンをクリック
- 11 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

- 12 「Microsoft IME 2000へのユーザー情報の登録」の画面で登録する場合は「OK」ボタンをクリック
登録しない場合は「登録しない」ボタンをクリック
- 13 「Microsoft IME 2000日本語入力システム」の画面が表示されたらボタンをクリック
- 14 「スタート」ボタン→「シャットダウン」をクリック
- 15 「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック



一太郎10・花子10パック

(一太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000モデルのみ)

概要

文章作成に一太郎10、図形処理に花子10、表計算に三四郎9、情報管理にSasukeを使用します。

機能の詳細や操作方法については、添付の一太郎10・花子10パックのマニュアルをご覧ください。

削除

一太郎10・花子10パックを削除するには、添付の一太郎10・花子10パックのマニュアル『一太郎10・花子10パック』をご覧ください、行ってください。

追加

一太郎10・花子10パックを追加するには、添付の一太郎10・花子10パックのマニュアル『一太郎10・花子10パック』をご覧ください、行ってください。

ロータス1-2-3 2000

(一太郎10・花子10パック& 1-2-3 2000モデルのみ)

概要

表計算アプリケーションです。

機能の詳細や操作方法については、添付のロータス1-2-3 2000のマニュアルをご覧ください。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行(P.20)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「1-2-3 2000」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「スーパーオフィス製品の選択」の画面から「すべてのスーパーオフィス製品をアンインストールする」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 4 「ロータス アンインストール」の画面で「はい」ボタンをクリック
- 5 「次のソフトウェアが削除されました」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 本機を再起動する

追加

- 1 CD-ROMドライブに「ロータス1-2-3 2000 CD-ROM」をセットする



「ロータス1-2-3 2000」の画面が実行されない場合、CD-ROMドライブのルートディレクトリの「INSTALL.EXE」を実行してください。

- 2 「ロータス1-2-3 2000」の画面で「インストールボタン」をクリック
- 3 「インストール方法をお選びください」というメッセージが表示されたら、「クイックインストール」ボタンをクリック
- 4 「C:ドライブにインストールします」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 5 「ロータスソフトウェア契約書」の画面で契約内容をよく読み、「同意する」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 6 「インストールは正常に終了しました」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

Internet Explorer 4.01

概要

インターネットへの接続を行い、ホームページを表示します。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Internet Explorer」をクリック
Internet Explorer 4.01の画面が表示されます。



Internet Explorer には、次の追加コンポーネントがあります。詳しくはコンポーネントのヘルプをご覧ください。

- Microsoft FrontPage Express
Web ページの作成や編集が簡単にできます。
- Microsoft NetMeeting 2.1
インターネットを通して会議を行ったり、アプリケーションを共有して共同作業を行うことができます。
- Microsoft Outlook Express
電子メールの送受信やインターネットニュースを見ることができます。
- Microsoft Web発行ウィザード 1.53
インターネット サーバにWeb ページを簡単にアップロードできます。
- Windows Media Player
オーディオファイル(.WAV)、ビデオファイル(.MOV)などのインターネットのマルチメディアファイルの再生ができます。

削除

- ✓ **チェック!!** Windows NT 4.0でのOffice 2000 Personal、およびOffice 2000 Professionalの必要動作条件がService Pack 3 以上 (Internet Explorer 4.01 Service Pack 1以上が必要。Internet Explorer 5以上を推奨。)であるため、Office 2000 Personal、またはOffice 2000 Professionalをお使いの方はInternet Explorer 4.01は削除しないでください。Internet Explorer 4.01を削除したい場合は先にOffice 2000 Personal、またはOffice 2000 Professionalを削除してください。

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する (P.20)
- 2 「インストールと削除」画面の一覧から「Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「前回のWindowsの設定を復元する」にチェックを付け、「詳細」ボタンをクリック
- 4 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「Internet Explorerの以前のバージョンと次のWindowsコンポーネントを復元する」にチェックを付けた後、削除するコンポーネントにチェックを付け、「OK」ボタンをクリック

Microsoft FrontPage Express
Microsoft Music Control
Microsoft NetMeeting 2.1
Microsoft Outlook Express
Microsoft WebPublishing Wizard 1.53
RunDll32 advpack.dll, LaunchINFSection C:\WINNT\INF
VDOLive Player
Windows Media Player 5.2
タスクスケジューラ1.0(削除のみ)

- 5 「Internet Explorer 4.0と共有コンポーネントを削除するには、「OK」をクリックしてください」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

- 6 「Microsoft Internet Explorer 4.0を削除しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。削除には数分かかります。
- 7 「セットアップを完了するにはWindowsを再起動する必要があります」と表示されたら、「Windowsの再起動」ボタンをクリック
- 8 「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されたら、実行中のプログラムでデータを処理しているものがあれば、それらのデータを保存しプログラムをすべて終了し、「OK」ボタンをクリック



チェック!!

Internet Explorer 4.0を削除して再起動時に「W:\にはアクセスできません。このフォルダは移動または削除されました。」と表示される場合があります。このメッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックして次へ進んでください。システムには影響ありません。

- 9 複数のユーザを登録している場合、次のコンポーネントに対して、そのコンポーネント用の個人設定を削除するよう表示されたら、必要に応じて「はい」「いいえ」ボタンをクリック

Microsoft Internet Explorer 4.0
Outlook Express
Microsoft NetMeeting 2.1
VDOLivePlayer
インターネット接続ウィザード
Windowsデスクトップのアップデートコンポーネント
Microsoft FrontPage Express
Microsoft Web Publishing Wizard 1.53

工場出荷時の状態で再追加する場合

- 1** 「追加の準備」の手順1～8を実行する(P.21)
- 2** 「Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック
- 3** 画面の指示に従う
- 4** 再起動を促すメッセージが表示されたら、フロッピーディスクを取り出し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動されます。

再起動後、Internet Explorer 4.01関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定が行われます。

Internet Explorer 4.01をカスタマイズして追加する場合

- 1 「追加の準備」の手順1～8を実行する(P.21)
- 2 「Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2(カスタムセットアップ)」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック
- 3 画面の指示に従う
- 4 「セットアップの開始」画面で「次へ」ボタンをクリック
- 5 使用許諾契約書が表示されたら、「同意する」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック
- 6 「インストール オプション」画面で「最小インストール」「標準インストール」「完全インストール」から選択し、「次へ」ボタンをクリック



最小インストール

Internet Explorer 4.01Webブラウザおよびマルチメディア拡張機能がインストールされます。

標準インストール

Internet Explorer 4.01Webブラウザ、Microsoft Outlook Expressおよびマルチメディア拡張機能がインストールされます。

完全インストール

工場出荷時の状態に戻ります。

- 7 「デスクトップのアップデート」画面で「インストールしますか？」が表示された場合は、「はい」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

8 「インストール先フォルダ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

インストールが始まります。インストールには10数分かかります。



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「フォルダの参照」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

9 「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

チェック!! CD-ROMはまだ取り出さないでください。

10 「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示された場合は、実行中のプログラムでデータを処理しているものがあれば、それらのデータを保存しプログラムをすべて終了し、「OK」ボタンをクリック

11 「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されたら、フロッピーディスクを取り出し、「OK」ボタンをクリック 自動的に再起動されます。

再起動後、Internet Explorer 4.01関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定が行われます。この間数分かかります。
セットアップ完了後、CD-ROMを取り出します。

最新のコンポーネントを追加する

Internet Explorer 4.01に最新のコンポーネントを追加するには、以下のいずれかの手順でインストールします。いずれの手順も同じWebサイトにつなげて、最新のアプリケーション(コンポーネント)をダウンロードします。(現状のコンポーネントは、インストールモジュールで可能)。

- Internet Explorer 4.01の「ヘルプ」→「製品更新」で追加。
- アプリケーションの追加と削除で、Internet Explorer 4.01を指定し、「コンポーネントをInternet Explorerに追加する」で追加。

上記手順でダウンロード可能なアプリケーション(コンポーネント)の詳細は以下のURLを参照してください。

http://www.microsoft.com/Windows/ie_intl/ja/ie401/download/SP2/x86/ja/download/addonnt.htm

その他

Internet Explorer 4.01を「完全インストール」すると、次のコンポーネントも追加されます。

これらのコンポーネントを削除するには「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で行ってください。

- Microsoft Outlook Express
- Microsoft NetMeeting 2.1
- Microsoft Chat 2.1
- Microsoft FrontPage Express
- Microsoft Music Control
- Microsoft Wallet
- Microsoft WebPublishing Wizard 1.53
- VDOLive Player
- Windows Media Player 5.2
- タスクスケジューラ 1.0

Internet Explorer 5

概要

インターネットへの接続を行い、ホームページを表示します。



チェック!

Internet Explorer 5は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してInternet Explorer 5をインストールしてください。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」をクリック

Internet Explorer 5の画面が表示されます。



Internet Explorer には、次の追加コンポーネントがあります。詳しくはヘルプをご覧ください。

- Microsoft FrontPage Express
Web ページの作成や編集が簡単にできます。
- Microsoft NetMeeting 2.11
インターネットを通して会議を行ったり、アプリケーションを共有して共同作業を行うことができます。
- Microsoft Outlook Express 5
電子メールの送受信やインターネットニュースを見ることができます。
- Microsoft Web 発行ウィザード 1.6
インターネット サーバに Web ページを簡単にアップロードできます。
- Microsoft Windows Media Player 6.1
オーディオファイル(.WAV)、ビデオファイル(.MOV)などのインターネットのマルチメディアファイルの再生ができます。

削除

- ✓ **チェック!!** Windows NT 4.0でのOffice 2000 Personal、およびOffice 2000 Professionalの必要動作条件がService Pack 3以上(Internet Explorer 4.01 Service Pack 1以上が必要。Internet Explorer 5以上を推奨。)であるため、Office 2000 Personal、またはOffice 2000 Professionalをお使いの方で、Internet Explorer 4.01を削除してから、Internet Explorer 5を追加した場合はInternet Explorer 5は削除しないでください。Internet Explorer 5を削除したい場合は先にOffice 2000 Personal、またはOffice 2000 Professionalを削除してください。

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する(P.20)
- 2 「インストールと削除」画面の一覧から「Microsoft Internet Explorer 5とインターネットツール」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Internet Explorer 5とインターネットツール」の画面で「以前のWindowsの設定を戻す」にチェックを付け、「詳細」ボタンをクリック
- 4 「Internet Explorer 5とインターネットツール」の画面で「以前にインストールしたInternet Explorerおよび次に選択したWindowsのコンポーネントを元の状態に戻す」にチェックを付け、削除するコンポーネントにチェックを付けて「OK」ボタンをクリック

＜Internet Explorer 4.01を削除してからInternet Explorer 5を追加した場合＞

Microsoft FrontPage Express

Microsoft NetMeeting 2.11

Microsoft Outlook Express 5

Microsoft Web発行ウィザード 1.6

Microsoft Windows Media Player 6.1

＜Internet Explorer 4.01を削除せずにInternet Explorer 5を追加した場合＞

Microsoft FrontPage Express

Microsoft Music Control

Microsoft NetMeeting 2.11

Microsoft Outlook Express 5

Microsoft Web Publishing Wizard 1.53

Microsoft Windows Media Player 6.1

VDOLive Player

- 5 「以前のバージョンのInternet Explorerと共有コンポーネントに戻すには[OK]をクリックしてください。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 「以前のバージョンのInternet Explorerに戻しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。削除には数分かかります。
- 7 「以前のバージョンのInternet Explorerに戻すにはWindowsを再起動する必要があります。」と表示されたら、「Windowsの再起動」ボタンをクリック
自動的に再起動されます。
- 8 再起動後、次のコンポーネントの個人設定を削除するか表示されたら、必要に応じて「はい」「いいえ」ボタンをクリック
 - Internet Explorer 5 とインターネットツール
 - Microsoft Web 発行ウィザード 1.6
 - インターネット接続ウィザード
 - Microsoft FrontPage Express

追加

自動的に完全構成で追加する場合

- 1 「追加の準備」の手順1～8を実行する (P.21)
- 2 「Microsoft Internet Explorer 5」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック

3 画面の指示に従う

- 再起動を促すメッセージが表示されたら、フロッピーディスクを取り出し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動されます。

再起動後、Internet Explorer 5関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定が行われます。

Internet Explorer 5をカスタマイズして追加する場合

- 「追加の準備」の手順1～8を実行する(P.21)
- 「Microsoft Internet Explorer 5(カスタムセットアップ)」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック
- 画面の指示に従う
- 使用許諾契約書が表示されたら、「同意する」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック
- セットアップ方法で「ブラウザのカスタマイズ」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 「コンポーネントのオプション」画面で「最小構成」「標準構成」「完全構成」から選択し、「次へ」ボタンをクリック



最小構成

Internet Explorer 5 Webブラウザが含まれます(その他のコンポーネントは必要時にインストールされます)。

標準構成

Internet Explorer 5 Webブラウザ、Outlook Express、Windows Media Player およびその他のマルチメディア拡張機能が含まれます。

完全構成

Internet Explorer 5 Webブラウザ、Outlook Express、Windows Media Player、NetMeeting、Chat2.5、Walletおよびマルチメディア拡張機能が含まれます。



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「フォルダの参照」画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、フロッピーディスクを取り出し「完了」ボタンをクリック
自動的に再起動されます。

再起動後、Internet Explorer 5関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定が行われます。



Outlook Express(Mail & News)

概要

電子メールを送受信したり、インターネットニュースを見ることができます。

起動方法

■ Internet Explorer 4.01をご利用の場合

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Outlook Express」をクリック
「Outlook Express」の画面が表示されます。

■ Internet Explorer 5をご利用の場合

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Outlook Express」をクリック
「Outlook Express」の画面が表示されます。

削除

- ✔ チェック!! Internet Explorerを完全に削除している場合は、Outlook Expressも削除されています。

Internet Explorer 4.01をご利用の場合

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する (P.20)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Outlook Express」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Outlook Expressをアンインストールします。続行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。
- 4 「Outlook Expressは正常にアンインストールされました。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

Internet Explorer 5をご利用の場合

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する (P.20)
- 2 「インストールと削除」画面の一覧から「Microsoft Outlook Express 5」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Outlook Expressをアンインストールします。続行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。
- 4 「コンピュータを再起動すると、アンインストールが完了します。コンピュータを再起動しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

追加

- ✓ **チェック!!**
- Internet Explorerを完全インストールした場合は、Outlook Expressも追加されています。
 - Outlook Expressを利用するには、Internet Explorerがインストールされている必要があります。

Internet Explorer 4.01をご利用の場合

- 1 「Internet Explorer 4.01」の「追加」の「Internet Explorer 4.01をカスタマイズして追加する場合」の手順1～9を実行する(P.45) 手順6で「完全インストール」を選択してください。
- 2 「コンポーネントのインストールは完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

Internet Explorer 5をご利用の場合

- 1 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 4 「Microsoft Internet Explorer 5 とインターネットツール」をクリックして選択し、「追加と削除」ボタンをクリック
- 5 「コンポーネントを追加する」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリック
- 6 「コンポーネントのオプション」画面で「Outlook Express」をチェックし「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 7 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック
自動的に再起動されます。



Microsoft NetMeeting

概要

インターネットを経由して、主催者と複数の参加者によるネットワーク会議を行うことができます。

起動方法

■ Internet Explorer 4.01をご利用の場合

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」→「Microsoft NetMeeting」をクリック
Microsoft NetMeetingの画面が表示されます。

■ Internet Explorer 5をご利用の場合

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「NetMeeting」をクリック
「Microsoft NetMeeting」の画面が表示されます。

削除

✓ **チェック!!** Internet Explorerを完全に削除している場合は、Microsoft NetMeetingも削除されています。

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する(P.20)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft NetMeeting 2.1」(Internet Explorer 5をご利用の場合は、「Microsoft NetMeeting 2.11」)をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Microsoft NetMeetingを削除します。よろしいですか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。
- 4 「Microsoft NetMeetingは削除されました」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 5 \Winnt\Profilesディレクトリ内の各ユーザー名の「スタートメニュー\プログラム」ディレクトリの「Internet Explorer」ディレクトリおよび「アクセサリ\マルチメディア」ディレクトリの中に、不要なショートカットファイルが残った場合は、削除する
動作には問題ありません。

追加



チェック!!

- Internet Explorerを完全インストールした場合は、Microsoft NetMeetingも追加されています。
- Microsoft NetMeetingを利用するには、Internet Explorerがインストールされている必要があります。

Internet Explorer 4.01をご利用の場合

- 1 「Internet Explorer 4.01」の「追加」の「Internet Explorer 4.01をカスタマイズして追加する場合」の手順1～9を実行する(P.45) 手順6で「完全インストール」を選択してください。
- 2 「コンポーネントのインストールは完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

Internet Explorer 5をご利用の場合

- 1 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 4 「Microsoft Internet Explorer 5とインターネットツール」をクリックして選択し、「追加と削除」ボタンをクリック
- 5 「コンポーネントを追加する」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリック
- 6 「コンポーネントのオプション」画面で「NetMeeting」をチェックし、「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 7 「インストールの完了」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

VirusScan for Windows NT

概要

コンピュータ ウイルスの検出、識別、および除去を行います。
コンピュータウイルスを検出した場合は、「PART3 トラブル解決Q&A」の「コンピュータウイルス対策について」をご覧ください。対処してください。



チェック!

VirusScan for Windows NT は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、後述の「追加」をご覧くださいになりインストールしてください。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates VirusScan NT」の「VirusScan」をクリック

プログラムが起動し、VirusScanの画面が表示されます。

VirusScan for Windows NTの利用方法、タスクの作成方法は、VirusScan for Windows NTのヘルプをご覧ください。



毎時、毎日、毎週、毎月というぐあいに定期的にウイルスを検索するスケジュール設定、ネットワークやフロッピーディスクを経由して入出力されるファイルをリアルタイム監視するオンアクセススキャンなどの機能もあります。

また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

使用上の注意

ログファイルについて

ログファイルのサイズはログの量により拡張されていきます。「レポート」タブの「ログのファイルの最大値」にチェックをしても指定サイズを超えることがあります。

Windows NT のログオンパスワード変更時の注意

VirusScan for Windows NT は、標準でインストールした場合、次の2つのサービスがシステムアカウントでWindows NTにログオンします。

- Network Associates Alert Manager
- Network Associates Task Manager

VirusScan for Windows NT をインストール後にシステムアカウントのパスワードを変更した場合、サービスのログオンアカウントのパスワードも変更する必要があります。サービスのログオンアカウントを変更しないと、サービスが起動しないため、VirusScanのオンデマンドスキャンおよび、アラートマネージャは動作しません。

システムアカウントのパスワードを変更してもサービスを起動させるためには、VirusScan for Windows NT の各サービスのアカウントを「システム」にする必要があります。

「システム」にするには、VirusScan for Windows NT の再インストールが必要です。インストール途中のアカウントの設定でシステムアカウントを選択してください。

「システム」にした場合、ネットワーク上の他のコンピュータへのアラートメッセージの転送等の一部の機能が使用できなくなりますが、オンアクセススキャンの機能には影響ありません。

ウイルス監視機能使用時の注意

ウイルス監視機能を有効にすると、ファイルをアクセスするたびにウイルスチェックを行うようになります。

本機の性能を優先する場合は、次の手順でウイルス監視機能を無効にしてください。

■ ウイルス監視機能を無効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates VirusScan NT」の「VirusScan コンソール」をクリック
- 2 タスクの一覧の「VirusScanオンアクセスモニタ」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリック
- 3 VirusScan NTプロパティの「検出」タブの「情報」の「オンアクセススキャンを起動時に使用可能にする」をクリックし、チェックマークを外す
- 4 VirusScan NTプロパティの「OK」ボタンをクリックし、終了する
- 5 コンピュータを再起動する

■ ウイルス監視機能を有効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates VirusScan NT」の「VirusScan コンソール」をクリック
- 2 タスクの一覧の「VirusScanオンアクセスモニタ」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリック
- 3 VirusScan NTプロパティの「検出」タブの「情報」の「オンアクセススキャンを起動時に使用可能にする」をクリックし、チェックマークを付ける
- 4 VirusScan NTプロパティの「OK」ボタンをクリックし、終了する
- 5 コンピュータを再起動する

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する (P.20)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「VirusScan NT v4.0.3b(プレインストール版)」または、「VirusScan NT v4.0.3a(プレインストール版)」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「VirusScan NTの削除が選択されました、本当にVirusScan NTを削除しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 コンピュータを再起動する

追加

- 1 「追加の準備」の手順1～8を実行する (P.21)
- 2 「VirusScan NT v4.0.3b(プレインストール版)」または、「VirusScan NT v4.0.3a(プレインストール版)」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック
- 3 以降の作業は画面の指示に従う

追加後はウイルス監視機能(VShield)が有効になり、ファイルをアクセスするたびに、ウイルスチェックを行うようになります。本機の性能を優先する場合は、ウイルス監視機能を無効にしてください。
ウイルス監視機能が無効にする場合は、本項の「使用上の注意」の「ウイルス監視機能使用時の注意」(P.60)を参照してください。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)

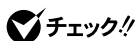
概要

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)は、パーソナルコンピュータに接続されているハードウェア情報およびインストールされているソフトウェア情報を管理するソフトウェアです。管理方法として、標準化団体DMTF(DeskTop Management Task Force)が規定したDMI(DeskTop Management Interface)およびCIM(Common Information Model)を採用しています。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)は、以下の機能により構成されます。

- Webブラウザによる情報表示
- システムビューワによる情報表示

操作方法・表示画面の詳細については、「オンラインヘルプ」、「ユーザーズガイド」および「リリースノート」をご覧ください。



チェック!

- Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してIntel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)をインストールしてください。
- お使いの機種によってはIntel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)は添付されていない場合があります。「知っておきたい便利な機能とアプリケーション」(P.24)をご覧ください。
- Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)をご利用になるには、Internet Explorer 4.01 SP2以上が必要です。(本機には、Internet Explorer 4.01 SP2がインストールされています。)
- ネットワークプリンタの監視を行っている場合、ネットワークプリンタの情報を取得するために定期的(約5秒間隔)にパケットが送信されます。パケットの送信を行いたくない場合は、「リリースノート」をご覧ください。

- Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)を動作させるためには、ネットワークの設定が行われており、TCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)をインストールする前にTCP/IPプロトコルのインストールを行ってください。TCP/IPの設定を行わずに、Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)をインストールした場合、本機起動時にエラーが出る場合がありますが、TCP/IPをインストールすることにより、正常に動作するようになります。

起動方法

次の2通りの方法があります。

- 1 タスクトレイの  をダブルクリック
Webブラウザによる情報表示画面が表示されます。
- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Intel LANDesk 管理ツール」→「Client Manager」の中から利用したい機能をクリック
選択した機能の画面が表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する (P.20)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Intel LANDesk Client Manager 6.0(with NEC Extensions)」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Intel LANDesk Client Manager 6.0(with NEC Extensions)」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 共有ファイルの削除を確認する画面が表示されたら、「すべていいえ」ボタンをクリック
- 5 「Client Managerを再インストールしたい場合にはコンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

- 1 「追加の準備」の手順1～8を実行する(P.21)
- 2 「Intel(R) LANDesk(R) Client Manager6.0(NEC Extension)」をクリックし、「インストール」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「製品ライセンス契約」の画面が表示されたら、内容を確認し、「はい」ボタンをクリック
- 5 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 6 「コンポーネントの選択」の画面が表示されたら、インストールするコンポーネントを選択し、「次へ」ボタンをクリック



NEC拡張機能とはIntel® LANDesk® Client Manager 6.0に対して、NEC独自に拡張した機能です。拡張した機能は、次のようなものがあります。

☆の機能は標準状態でインストールされます。

★の機能は標準状態でインストールされません。

インストールする機能を追加／削除するためには、「NEC拡張機能」を選んで、「変更」ボタンを押してください。

☆DMITool互換画面(※)

DMITool互換のユーザI/F(システムビューワ、MIFブラウザ、SMBIOSブラウザ、資産管理ブラウザ)を使用可能にします。

次の4つの機能(※印)は、DMITool互換画面を選択すると、自動的にインストールされます。いずれかをインストールしたくない場合は、まずDMITool互換画面のチェックボックスを外してください。

☆USB接続デバイス一覧(※)

USBに接続されているデバイスの一覧を表示可能にします。

☆モデム一覧(※)

Windowsにセットアップされているモデムの一覧を表示可能にします。

☆プリンター一覧/プリンタ監視(※)

接続されているプリンタの一覧表示と、プリンタの状態監視を可能にします。

☆拡張資産管理(※)

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0の資産管理機能に、リース情報/棚卸し管理を追加し、リース/棚卸し管理を可能にします。

★H/W変更監視

HDD/CPU/メモリが変更された場合に、警告を表示する機能を提供します。

★TOOL連携

コンピュータの異常を検出したときに、バックアップツール等の起動やシステムのシャットダウンを行う機能を提供します。連携するツールは、インストールするOSにあわせて標準で設定されていますが、標準の設定から変更する場合は、インストール後、「NEC Extensionリリースノート」の「TOOL連携について」を参照してください。

★SMBIOS情報

SMBIOS 情報を管理者等の他のコンピュータから参照可能にする場合は、このコンポーネントをインストールしてください。

7 「プログラムフォルダの選択」の画面で「次へ」ボタンをクリック

8 「ユーザの追加」の画面で必要事項を入力し、「次へ」ボタンをクリック



チェック!!

Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合、Adobe Acrobat Readerがインストールされていない旨のメッセージが表示されます。「Acrobat Reader 3.0J」(P.87)を参照してインストールを行ってください。

9 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認し、「完了」ボタンをクリック

自動的に再起動します。

pcAnywhere 9.0 EX

概要

ネットワーク接続された他のパソコンに本機の画面を表示し、遠隔地から本機を操作することができます。遠隔地からの保守作業などに使用することができます。



チェック!!

- pcAnywhere 9.0 EX は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、後述の「追加」をご覧になりインストールしてください。
- お使いの機種によってはpcAnywhere 9.0 EXは添付されていない場合があります。「知っておきたい便利な機能とアプリケーション」(P.24)をご覧になり確認してください。
- pcAnywhere 9.0 EXを使って、他のパソコンを操作することはできません。他のパソコンから本機を操作するには、相手のパソコンに、別売の「DMITool Ver8.1 (pcAnywhere9.0 EXコンプリート版付)」または「pcAnywhere」(Symantec社製)がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても別売の「DMITool Ver8.1 (pcAnywhere 9.0 EX コンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。
- 接続デバイスはSPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcAnywhere 9.0 EX」をクリック

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する(P.20)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「pcAnywhere 9.0 EX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「ファイル検出の確認」が表示されたら、「はい」ボタンをクリック

 **チェック!!** 共有ファイルの削除を確認する画面が表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「アンインストールが完了しましたが、いくつかの項目は削除できませんでした。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 5 「'pcAnywhere 9.0 EX'はシステムから削除されました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 「コンポーネントからpcAnywhereをアンインストールしました。今すぐに再起動しますか？」と表示されたら、「はい」をクリック

本機が自動的に再起動します。

- 1 「追加の準備」の手順1～8を実行する(P.21)
- 2 「pcAnywhere 9.0 EX」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック
画面の指示に従ってください
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「ユーザーの情報」の画面が表示されたら、名前と会社名を入力し「次へ」ボタンをクリック
- 5 「オンライン使用許諾契約」の画面が表示されたら、契約内容をよくお読みになり同意の上「はい」ボタンをクリック
- 6 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 「セットアップの確認」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
ファイルのコピーが始まります。
- 8 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」にチェックされていることを確認し、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して「完了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。



Masty Data Backup

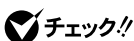
概要

Masty Data Backup(マスティデータバックアップ)は、Windows NT対応の高機能バックアップツールです。

“ハードディスクが突然クラッシュ”この時の損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万が一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を最小限におさえるツールです。

Masty Data Backupには次のような特徴があります。

- OSがサポートしている装置(MO、PD、HD、Zip、Jaz、スーパーディスクおよびTAPEなど)にバックアップできます。
- CD-RWドライブ搭載モデルではDirectCD使用時、CD-RW、CD-Rにバックアップできます。
- 日付/曜日/時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジューリングができます。
- データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- 複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- 世代管理ができます。
- S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。



チェック!!

- Masty Data Backup は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。ご使用になる場合は、後述の「追加」をご覧ください。
- お使いの機種によってはMasty Data Backupは添付されていない場合があります。「知っておきたい便利な機能とアプリケーション」(P.24)をご覧ください。
- 自動実行を行うには、「スタート」ボタン→「プログラム」→「Masty Data Backup 1.0」→「Readme」をクリックして「はじめに」をお読みください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Masty Data Backup 1.0」→「Masty Data Backup 1.0」をクリック

削除

- 1 **Masty Data Backupを終了する**
タスクトレイに時計アイコンが存在する場合は、時計アイコン上で右クリックして、「閉じる」をクリックしてください。
次に、タスクバーのMasty Data Backupを右クリックし、「閉じる」を選択して終了してください。
- 2 「削除の準備」の手順1～3を行う (P.20)
- 3 「削除の準備」の手順3で「Masty Data Backup/F」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリック
- 4 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 5 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック



チェック!!

- ・アンインストーラ(アンインストールをするプログラム)は、Windows NT の登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
- ・再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルにはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外はすべて隠しファイルとなっています。

追加

- 1 「追加の準備」の手順1～8を行う (P.21)
- 2 「Masty Data Backup /F」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック
画面の指示に従ってください
- 3 「ようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「インストール先の選択」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「READMEファイルを読みますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
メモ帳が起動し、READMEファイルが表示されます。読み終えたら終了させてください。
- 6 「セットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

CyberAccess

概要

CyberAccessは、「モード」を作成してシステム設定ツールへのアクセスを限定し、デスクトップを単純化したり、操作可能なアプリケーションを限定することができるアプリケーションです。使用者のレベルにあわせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような操作を未然に防ぐことができます。また、ログインするユーザ別にモードを対応付けることができるため、複数のモードを使い分けることができます。



チェック!!

- CyberAccessは工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してCyberAccessをインストールしてください。
- ネットワークを利用した集中管理を行うには、別売の「CyberAccess Ver2.0」が必要です。

モードの種類

CyberAccessをインストールすると、以下のモードを利用することができます。モードの作成方法、切り替え方法については、CyberAccessのヘルプをご覧ください。

- エキスパートモード : CyberAccessのすべての機能を利用することができます。
- アドバンスドモード(※) : コンピュータのシステムをすべて利用することができます。モードの作成、編集など、CyberAccessの設定を変更することはできません。
- ベーシックモード(※) : システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータのハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
- セキュリティモード : CyberAccessで設定することができるすべての機能制限が設定されています。

- ・ 新規作成モード : CyberAccessインストール後、新規に作成するモードです。新規にモードを作成するためには、エキスパートモードで起動する必要があります。
- ※ CyberAccess インストール時に「カスタム」セットアップを行なうことで、このモードを利用するかどうかを選択することができます。「標準」セットアップを行なった場合は、このモードは利用することができません。「カスタム」、「標準」セットアップについては、後述の「追加」の手順をご覧ください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」→「利用環境の設定」をクリック
「CyberAccess ローカルのプロパティ」が表示されます。

削除

CyberAccessはエキスパートモード以外のモードからは削除できません。削除する前に、エキスパートモードに変更してください。
次の手順でCyberAccessを削除します。

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する (P.20)
- 2 「CyberAccess」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「CyberAccessアプリケーションとその全てのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

追加

- 1 「追加の準備」の手順1～8を実行する(P.21)
- 2 「CyberAccess」をクリックし、「インストール」ボタンをクリック
- 3 「CyberAccessセットアッププログラムへようこそ」が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「インストール先ディレクトリを選択」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、インストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「CyberAccess」の画面で、セットアップ方法を選択します。
「標準」または「カスタム」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック

- ・ 標準 : 以下の設定で自動的にインストールされます。

利用できるモード : エキスパートモード
セキュリティモード

標準起動モード : エキスパートモード
エキスパート

モードのパスワード : "manager"

- ・ カスタム : 以下の設定をインストール時に変更することができます。

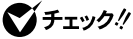
利用できるモード : 以下のモードを追加
選択可能

アドバンスドモード
ベーシックモード

標準起動モード : 任意のモードを設定
可能

エキスパート

モードのパスワード : 任意の文字列に変更可能(デフォルトは、
"manager")



チェック!

- ・上記設定項目は、それぞれ以下の機能を実現します。

利用できるモード : 新規に作成しなくても、インストール直後からあらかじめ準備されているモードです。インストール後、「利用環境の設定」から登録することによって利用することができます。

標準起動モード : 特定のモードに対応付けられていないユーザ名でログインした時などに起動するモードです。

エキスパート

モードのパスワード : CyberAccessの設定を行なうことができる管理者モードであるエキスパートモードのパスワードです。このパスワードを設定することにより、不正なアクセスや CyberAccessの設定変更などを防ぐことができます。

- ・標準起動モードとエキスパートモードのパスワードは、インストール後に変更することができます。
- ・カスタムセットアップを選択した時、「利用できるモード」には必ず次のモードが設定されます。

エキスパートモード

セキュリティモード

- 6 「標準」セットアップを選択した場合は、手順10に進む
「カスタム」セットアップを選択した場合は、インストール時に作成するモードを選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 7 標準起動モードを選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 8 エキスパートモードのパスワードを設定し、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「CyberAccessサーバ名の入力」欄には、何も入力せず、「ネットワークモードをダウンロードしない」にチェックしていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

メモ

この項目は、ネットワークを利用した集中管理を行なうためのものです。
別売の「CyberAccess Ver2.0」が必要です。

- 10** 「セットアップ開始」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 11** 「セットアップ完了」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 12** 再起動を促すメッセージが表示されたら、フロッピーディスクを取り出し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。



Timer-NX

概要

Timer-NXには以下の機能があります。

1. タイマ機能により、指定した時刻に本機の電源を入れ、アプリケーションを起動することができます。
2. オートログオンの設定により、起動時Windows NTのログオン画面での「ユーザ名」および「パスワード」の入力要求なしにログオンします。
3. オフタイマ機能により、終了時刻を指定すると、自動的に電源を切ることができます。

操作方法・表示画面の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。



チェック!!

Timer-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされておりません。ご使用になる場合は、後述の「追加」をご覧くださいになりインストールしてください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
「Timer-NX」画面が表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する(P.20)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Timer-NX」をクリックし、「追加と削除」をクリック
- 3 「Timer-NXとそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」をクリック
削除が始まります。



チェック!!

削除中、Timer-NXが使用している共有ファイルの削除確認メッセージが表示される場合があります。これらの共有ファイルが他のアプリケーションでも使用されている場合は、「保存」ボタンをクリックしてください。
使用されていない場合は「削除」ボタンをクリックしてください。
他のアプリケーションで使用されているか不明な場合は「保存」ボタンをクリックしてください。

- 4 「削除されました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

Timer-NXを追加したい場合は、以下の手順を行ってください。

- 1 「追加の準備」の手順1～8を実行する(P.21)
- 2 「Timer-NX」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリック
- 3 「Timer-NXのセットアップを始めます。」のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 4 「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください。」と表示されたら、パソコンの絵が描かれているボタンをクリック
インストールが始まります。



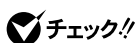
インストール先フォルダを変更する場合は、「ディレクトリ変更」ボタンをクリックし、「ディレクトリ変更」画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「Timer-NXのセットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 再起動を促すメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックし、本機を再起動する

NEC Soft MPEG1.0

概要

Internet Explorer 4.01をご利用の場合は、メディアプレーヤーなどで、MPEG1のファイルを再生するときにデータをデコードするためにNEC Soft MPEG1.0が必要です。



チェック!!

- NEC Soft MPEG1.0は、工場出荷時の状態ではインストールされておりません。ご使用になる場合は、後述の「追加」をご覧になりインストールを行ってください。
- Internet Explorer 5をご利用の場合は、NEC Soft MPEG1.0をインストールする必要はありません。「Windows Media Player」でMPEGファイルを再生することができます。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」から「メディアプレーヤー」をクリック
- 2 「デバイス」から、「NEC Soft MPEG1.0」をクリック
- 3 「ファイルを開く」ダイアログボックスで、再生したいMPEGファイルをクリック
- 4 「開く」ボタンをクリック
- 5 再生ボタンをクリック
再生が始まります。

NEC Soft MPEG1.0に関する注意事項

- ・ ビデオのみのデータは、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置は必ずしも一致しません。
- ・ メディアプレーヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジケータがフレームのときのみコマ送りとなります(順方向ボタン)。逆再生方向のボタンは戻る場合と戻らない場合があります。
- ・ 画質優先モードで再生時、画像サイズを変更すると再生が遅くなる場合があります。
- ・ メディアプレーヤーでプルダウンメニューを表示すると再生が停止します。再生中にキーボードから[Alt]を押したときも同様に停止します。

削除

NEC Soft MPEG1.0の削除は「コントロールパネル」の「マルチメディア」を使用して行います。

- 1** NEC Soft MPEG 1.0を使用するアプリケーションが起動されていないことを確認する
次のアプリケーションがNEC Soft MPEG 1.0を使用するアプリケーションです。
 - ・ メディアプレーヤ
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」を起動する
- 3** 「マルチメディア」をダブルクリック
- 4** 「マルチメディアのプロパティ」から「デバイス」タブを選択する
- 5** 「メディアコントロールデバイス」の左のプラス記号(+)をクリックしてデバイスドライバの一覧を表示する
- 6** 「(MCI) NEC Soft MPEG1.0」をクリック
- 7** 「削除」ボタンをクリック
- 8** 「削除してもよろしいですか？」と表示されるので、「はい」ボタンをクリック
以上でNEC Soft MPEG1.0が削除されます。

NEC Soft MPEG1.0の追加は「コントロールパネル」の「マルチメディア」を使用して行います。

- 1 CD-ROMドライブに本機添付の「バックアップCD-ROM (OSを除く)」をセット
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「マルチメディア」をダブルクリック
- 4 「デバイス」タブにある「追加」ボタンをクリックし、「追加」ダイアログを開く
- 5 「ドライバの一覧」から「一覧にない、または更新されたドライバ」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 6 「ドライバのインストール」画面でコマンドラインに「<CD-ROMドライブ名>: \NECMPEG\」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 7 「一覧にない、または更新されたドライバの追加」画面が表示されるので「(MCI) NEC Soft MPEG 1.0」を選択し、「OK」ボタンをクリック
システム上にドライバが存在する場合、インストールの確認ダイアログが表示されるので、新しいドライバをインストールします。
- 8 インストールが完了すると「NEC MPEG コンフィグレーション」画面が表示されるので、「了解」ボタンで閉じる
以上でNEC Soft MPEG 1.0が追加されます。

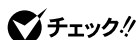
文豪DP/LANシリーズコンバータ

概要

NECワープロ(文豪シリーズ、文豪DPシリーズ、LAN(N5200、PC-PTOS)シリーズ)やWindows版LANシリーズの文書を一太郎や三四郎のデータ形式に変換します。

操作の説明や変換における制限事項等については、添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)」の次のファイルをご覧ください。

<CD-ROMドライブ名>:\Ap¥dpconv¥説明書.jtd



チェック!

- ・文豪DP/LANシリーズコンバータは、工場出荷時の状態では、インストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照して文豪DP/LANシリーズコンバータをインストールしてください。
- ・文豪DP/LANシリーズコンバータは、スーパーディスクドライブでは使用できません。
- ・文豪DP/LANシリーズコンバータは文豪ミニシリーズ、文豪JXシリーズの文章を変換することはできません。
- ・文豪DP/LANシリーズコンバータをご使用になる場合は、一太郎8以上もしくは三四郎8以上のソフトウェアが必要です。また、上記のファイルを参照するには、一太郎8以上が必要です。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックし、変換を行いたいユーティリティをクリック

変換を行いたい文書形式に該当する変換ユーティリティを起動します。

- | | | |
|---------------------|---|-------------------------------------|
| 「DP-CARD+→三四郎文書変換」 | … | NECカード型データベースソフトウェアの文書を三四郎文書に変換します。 |
| 「DP-PLAN→三四郎文書変換」 | … | NEC表計算ソフトウェアの文書を三四郎文書に変換します。 |
| 「DP-WORD→一太郎文書変換」 | … | NECワープロの文書を一太郎文書に変換します。 |
| 「NECAI→ATOK辞書移行ツール」 | … | 学習単語をATOK登録形式に変換します。 |

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する (P.20)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック



チェック!

「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 5 Windowsを再起動する

追加

- 1 「追加の準備」の手順1～8を実行する(P.21)
- 2 「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックし、「インストール」ボタンをクリック
- 3 「セットアップ」の画面が表示されたら、内容確認後、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「お使いのコンピュータの機種を選択してください。」の画面が表示されたら、「MATE NX / VAULE STAR NX / NetFine NX」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「インストール先のディレクトリを確認する」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。

メモ

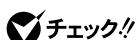
インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 6 「セットアップが完了しました。」の画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

Acrobat Reader 3.0 J

概要

PDF (Portable Document Format) 形式の電子マニュアルの表示、閲覧、印刷を行うことができます。



チェック! Acrobat Reader 3.0Jは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。
お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してAcrobat Readerをインストールしてください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adobe Acrobat」→「Acrobat Reader 3.0J」をクリック
Acrobat Reader の画面が表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する (P.20)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 「追加の準備」の手順1～8を実行する(P.21)
- 2 「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリックし、「インストール」ボタンをクリック
- 3 「Adobe Acrobat Reader 3.0Jインストール」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「ようこそ」が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「使用許諾契約書」が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 6 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。

メモ

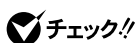
インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 「セットアップの完了」が表示されたら、「終了」ボタンをクリック
メモ帳が起動し、READMEファイルが表示されます。読み終えたら終了させてください。
- 8 「セットアップが終了しました。」が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

液晶ディスプレイ調整ツール

概要

液晶ディスプレイ調整ツールは、液晶ディスプレイの画面を調整する場合に利用します。お使いの液晶ディスプレイにより、操作方法が異なりますので、お使いの液晶ディスプレイの型番にあわせてお読みください。



チェック!!

- ・CRTディスプレイでは、ご利用になれません。
- ・デジタルTFT液晶ディスプレイ (F14T52、F15T42、F15S32) をご利用の場合は、本ツールを使用して、画面調整する必要はありません。
- ・液晶ディスプレイ調整ツールは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照して液晶ディスプレイ調整ツールをインストールしてください。
- ・必要に応じて液晶ディスプレイに添付されているマニュアルもご覧ください。

起動方法

■ F14T41W、F18S1Wをご利用の場合

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「液晶ディスプレイ調整ツール1」をクリック

■ F15R42W をご利用の場合

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「液晶ディスプレイ調整ツール2」をクリック

削除

■ F14T41W、F18S1Wをご利用の場合

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する (P.20)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「液晶ディスプレイ調整ツール1」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「液晶ディスプレイ調整ツール1」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

■ F15R42Wをご利用の場合

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する (P.20)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「液晶ディスプレイ調整ツール2」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「液晶ディスプレイ調整ツール2」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加**■ F14T41W、F18S1Wをご利用の場合**

- 1** 「追加の準備」の手順1～8を実行する (P.21)
- 2** 「液晶ディスプレイ調整ツール(F14T41W/F14T41B、F18S1W専用)」をクリックし、「インストール」ボタンをクリック
- 3** 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4** 「ファイルコピーの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
セットアップ画面が終了したら、セットアップは終了です。

■ F15R42W をご利用の場合

- 1** 「追加の準備」の手順1～8を実行する (P.21)
- 2** 「液晶ディスプレイ調整ツール(F15R42W専用)」をクリックし、「インストール」ボタンをクリック
- 3** 「液晶ディスプレイ画面調整ツール2 セットアップ」画面が表示されたら、液晶ディスプレイの「PROCEED」ボタンを押す
- 4** 画面中央に表示されたOSDメニューと手順3で表示されたOSDメニューが同じデザインであることを確認する
- 5** 確認したら、液晶ディスプレイの「EXIT」ボタンを押す
画面中央のOSDメニューが消えます
- 6** 「OK」ボタンをクリック
- 7** 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 8** 「ファイルのコピーの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

9 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

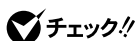
これで追加の手順は終了です。

Easy CD Creator Lite

概要

Easy CD Creator Liteは、CD-RおよびCD-RWへ大量のデータやプログラムを記録することができます。

機能の詳細や操作方法についてはEasy CD Creator Liteのヘルプをご覧ください。



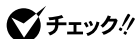
チェック!!

- Easy CD Creator Liteは工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照して、Easy CD Creator Liteをインストールしてください。
- Easy CD Creator Liteは、CD-RWドライブ搭載モデルのみ添付されています。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adaptec Easy CD Creator Lite」→「Easy CD Creator Lite」をクリック
Easy CD Creator Liteの画面が表示されます。

削除



チェック!!

DirectCDをインストールしている場合は、Easy CD Creator Lite を削除する前にDirectCDを一度削除し、Easy CD Creator Lite 削除後、再追加してください。

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する (P.20)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adaptec Easy CD Creator Lite」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック

- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「共有ファイルを削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「すべていいえ」ボタンをクリック
- 5 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 本機を起動し、CD-ROMドライブに「Easy CD Creator Lite / DirectCD CD-ROM」のCD-ROMをセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 4 「インストールと削除」タブの「インストール」ボタンをクリック
- 5 「次へ」ボタンをクリック
- 6 「インストールプログラムの実行」画面の「インストールプログラムのコマンドライン」に次のように入力し、「完了」ボタンをクリック

例 CD-ROMドライブ名がDの場合
D:\EASYCD\DISK1\SETUP.EXE
- 7 「Easy CD Creator Lite セットアッププログラムへようこそ」のメッセージが表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「製品ライセンス契約」画面が表示されたら、内容を確認し、「はい」ボタンをクリック

9 「インストール先の選択」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

インストールが始まります。



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



チェック!!

「読み取り専用ファイルの検出」の画面が表示されたら「はい」ボタンをクリックしてください。

10 「アップデートフロッピーディスクのインストール」の画面が表示されたら、「スキップ」ボタンをクリック

11 「セットアップの完了」画面が表示されたら、「はい、直ちに再起動します。」にチェックをし、「終了」ボタンをクリック自動的に再起動します。

DirectCD

概要

DirectCDは、CD-RおよびCD-RWへ大量のデータやプログラムを記録することができます。

機能の詳細や操作方法についてはDirectCDのヘルプをご覧ください。



チェック!!

- DirectCDは工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してDirectCDをインストールしてください。
- DirectCDはCD-RWドライブ搭載モデルのみ添付されています。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adaptec DirectCD」→「Adaptec DirectCD」をクリック
DirectCD の画面が表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する (P.20)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adaptec DirectCD」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック



チェック!!

「共有ファイルを削除しますか？」というメッセージが表示されたら「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 本機を起動し、CD-ROMドライブに「Easy CD Creator Lite / DirectCD CD-ROM」のCD-ROMをセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 4 「インストールと削除」タブのインストールボタンをクリック
- 5 「次へ」ボタンをクリック
- 6 「インストールプログラムの実行」画面の「インストールプログラムのコマンドライン」に次のように入力し、「完了」ボタンをクリック
 例 CD-ROMドライブ名がDの場合
 D:\DIRECTCD\DISK1\SETUP.EXE
- 7 「Adaptec DirectCDインストール」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 8 「DirectCD ライセンス契約」の画面で内容を確認し、「はい」ボタンをクリック
- 9 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
 インストールが始まります。



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックして、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

10 「アップデートフロッピーディスクのインストール」の画面が表示されたら、「スキップ」ボタンをクリック

11 「セットアップの完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」にチェックをし、「終了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

他のOSを利用する

この章の読み方

利用するOSの先頭ページから順番にお読みください。

この章の内容

Windows NT Server 4.0を利用する	100
Windows 98を利用する	124



Windows NT Server 4.0を利用する

本機で別売のWindows NT Server 4.0日本語版を利用する場合のセットアップ手順について説明します。

NetPCモデルをお使いの方は、別売のWindows NT Server 4.0は、ご利用できません。

Windows NT Server 4.0をセットアップする前に

ここでは、セットアップを行う際に必要な情報や注意事項について説明しています。

セットアップを始める前に必ずお読みください。

Windows NT Server 4.0のセットアップには、約90分～120分程度の時間がかかります。

準備するもの

セットアップを行うには、次のものがが必要です。

本機に添付されている次のCD-ROMとフロッピーディスクを用意してください。

- ・ バックアップCD-ROM(OSを除く)
- ・ バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク
- ・ サービス パック 5 CD-ROM
- ・ 「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(Windows NT® 4.0)ドライバディスク」
(Ultra SCSIインターフェースボード(Wide対応)搭載モデルのみ)

また、次のものを用意してください。

- ・ Windows NT Server CD-ROM Disc1, Disc2
- ・ Windows NT Server Setup Disk1 ～ Disk3
- ・ 新しいフロッピーディスク 1 枚(1.44Mバイトでフォーマットしたもの)
フロッピーディスクには「Windows NT修復ディスク」のラベルを貼っておいてください。

セットアップに関する注意

- ・「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」の\NT40ディレクトリにWindows NT 4.0の補足事項を記述したREADME.TXTがあります。セットアップを行う前にお読みください。
- ・本機を購入時の構成に戻してください。本機を購入後、お客様が接続した周辺機器は、再セットアップ前に一度取り外し、再セットアップ後にもう一度、接続と設定を行ってください。周辺機器の設定については『Microsoft Windows NT Serverファーストステップガイド』または周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- ・セットアップを行う前に、大切なデータは必ずバックアップをとっておいてください。
- ・実際に表示される画面は、お使いの機種によって本文中の画面と一部異なる場合があります。
- ・セットアップは途中で中断しないでください。もし中断した場合は、最初からやり直してください。
- ・セットアップ中は電源スイッチを押さないでください。
- ・Windows NT Server 4.0 をご使用になる場合には、2000年問題対応が必要になります。
NECのインターネットのホームページ「98Information」で、コンピュータの2000年問題対応について、情報を提供していますので、セットアップ後に必ず次のアドレスにアクセスし、Windows NT 4.0の2000年問題対応の情報および修正プログラムを入手して適用してください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

Windows NT Server 4.0をセットアップする前の確認事項

BIOSの設定を変更している場合は、必ず工場出荷時の設定に戻してください。また、パスワードを解除してください。



チェック!

工場出荷時のBIOS設定では、起動するデバイスの順番がATAPI CD-ROMの方がハードディスクよりも優先されます。ご使用になるCD-ROMによっては、自動的に起動するため、セットアップ中にシステムの再起動を行うときは、本機からCD-ROMを取り出して再起動するか、または起動するデバイスの優先順位を変更してください。

参照

BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻すには→『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」の「BIOSセットアップメニューについて」「工場出荷時の設定値に戻す」

MA46H/Sをお使いの方は、『本機をお使いの方へ』「BIOSセットアップメニューについて」「工場出荷時の設定値に戻す」

参照

パスワードを解除するには→『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」「セキュリティの設定」

MA46H/Sをお使いの方は『本機をお使いの方へ』「Security Setupの設定」

スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定

3.5インチベイにスーパーディスクドライブを搭載しているモデルでは、「Windows NT Server Setup Disk」(フロッピーディスク)を使ったセットアップは行えません。

「Windows NT Server CD-ROM Disc」(CD-ROM)だけを使ってWindows NTのセットアップを行う必要があります。

BIOSセットアップメニューを以下のように設定することによってCD-ROMからのWindows NTのセットアップが可能になります。



チェック!

BIOSセットアップメニューは、工場出荷時の状態では英語で表示されます。以下の説明は、日本語で表示されたメニューで説明しています。日本語のメニューを表示する方法は、『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」をご覧ください。

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」ロゴの画面で、「<F2>:BIOSセットアップメニューを起動します、<F12>:ネットワークブートします。」と表示されたら、[F2]を押す

3 メニューバーの「起動」で、「ATAPI CD-ROMドライブ」を[+] [-]で起動デバイスの「1」に移動する

この設定は、デバイスの起動順位を設定するものです。Windows NTのセットアップ後は元に戻してください。

- 4 メニューバーの「メイン」の「フロッピーディスクA:」およびメニューバーの「詳細」の「周辺機器設定」の「フロッピーディスクコントローラー」が「使用しない」になっていることを確認する
「使用しない」以外になっている場合は、【+】【-】で「使用しない」を選択する
- 5 メニューバーの「終了」で「変更を保存して終了する」を選択し、【Enter】を押す
- 6 「はい」を選択し、【Enter】を押す
BIOSセットアップメニューの終了後、Windows NTのセットアップがCD-ROMドライブから行えます。

Windows NT Server 4.0のセットアップ

手順

本機でWindows NT Server 4.0をセットアップするには、次の手順で行います。

- ・ Windows NT Server 4.0のセットアップ
- ・ USB接続キーボードドライバのセットアップ
- ・ ドライバのアップデート
- ・ 内蔵サウンドドライバのセットアップ
- ・ 内蔵アクセラレータドライバのセットアップ
- ・ 内蔵FAXモデムボードのセットアップ
- ・ スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ



チェック!!

- ・ 「ドライバのアップデート」以降の作業は必ずAdministrator権限を持つユーザーで行ってください。
- ・ スーパーディスクドライブとフロッピーディスクドライブの両方のドライブを搭載しているモデルの場合は、フロッピーディスクドライブ搭載モデルとしてセットアップを行ってください。

ここでは、次のようなドライブ構成になっている場合を例に説明します。
実際と異なる場合は、読み替えてください。

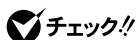
Cドライブ：Windows NT Server 4.0をセットアップするドライブ

Aドライブ：フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブ

Dドライブ：CD-ROMドライブまたはCD-RWドライブ

Windows NT Server 4.0のセットアップ

本機にWindows NT Server 4.0を新規に組み込む場合について説明します。ここで詳しく解説されていない手順については、Windows NT Server 4.0日本語版に添付されている『Microsoft Windows NT Serverファーストステップガイド』をご覧ください。



チェック!

3.5インチベイに搭載されているドライブの種類によって、セットアップの手順が異なります。お使いのモデルに該当する箇所をご覧ください。フロッピーディスクドライブとスーパーディスクドライブの両方のドライブを搭載しているモデルをご使用の場合は「■フロッピーディスク搭載モデルの場合」の手順でセットアップを行ってください。

■フロッピーディスクドライブ搭載モデルの場合

- 1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows NT Server Setup Disk 1」をセットし、CD-ROMドライブに「Windows NT Server CD-ROM Disc1」をセット
- 2 画面の指示に従ってセットアップを続ける
- 3 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、[Enter]を押す
- 4 Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)搭載モデルの場合は、「検出のスキップ」を選択する
その他のモデルの場合は、「IDE CD-ROM (ATAPI 1.2)/PCI IDE Controller」が表示されていることを確認し、[Enter]を押して手順13に進む

5 「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されたら、「追加デバイスの指定」を選択する

6 デバイスの一覧から「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選択し、【Enter】を押す

7 ドライバが入っているディスクをセットするように表示されるので、フロッピーディスクドライブに、「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller (Windows NT® 4.0) ドライバディスク」をセットし、【Enter】を押す

8 ドライバの一覧から次のドライバを選択し、【Enter】を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

9 認識した大容量記憶装置の一覧に、次のものが追加されていることを確認して、追加デバイスの指定を選択する

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

 **チェック!!** デバイスが追加されない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

10 一覧から「IDE CD-ROM (ATAPI 1.2)/PCI IDE Controller」を選択し、【Enter】を押す

11 画面の指示に従ってセットアップディスクを入れ替える

- 12** 認識した大容量記憶装置の一覧に、次のものが追加されていることを確認し、【Enter】を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

- 13** 「シリンダの数が1024を超えるハードディスクが存在します。」と表示された場合は、【Enter】を押す

- 14** ライセンス契約画面が表示されるので、内容をよく読んでから【F8】を押す

「Page Down」を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、再セットアップはできません。

- 15** 本機にその他のWindows NTがインストールされている場合、アップグレードするかどうか確認されますが、ここではアップグレードしないで再セットアップを続けるので【N】を押す

- 16** 「キーボードの種類を特定するために以下のいずれかのキーを押してください」のメッセージが表示されるので、「106日本語キーボード」を選択する(【半角/全角】を押す)

ここでは、接続しているキーボードの種類にかかわらず、「106日本語キーボード」を選択してください。

- 17** 「コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェアがあります。」の画面で、【↑】を押して「コンピュータ:標準PC」にあわせ、【Enter】を押す

- 18** 「インストールするコンピュータの種類を変更します。」の画面で「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選択し、【Enter】を押す

- 19** 「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、【Enter】を押す

- 20** 「ハードウェアメーカーから提供されたディスク…」の画面で、「PC98-NX Mate NX」を選択し、【Enter】を押す

21 「コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェアがあります。」の画面で「コンピュータ:PC98-NX Mate NX」と表示されていることを確認し、[Enter]を押す

22 Windows NTをインストールするパーティション、ファイルシステム、ディレクトリの設定を行う

ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択してください。

NTFSファイルシステムをご使用になる場合は、FATファイルシステムでWindows NT 4.0のセットアップを行った後、ディスクアドミニストレータ、またはコマンドプロンプトからconvertコマンドを使用してNTFSファイルシステムに変換してください。

FATファイルシステムとNTFSファイルシステムの詳細は、『Microsoft Windows NT Server ファーストステップガイド』をご覧ください。

23 画面の指示に従ってセットアップを続行する

24 ファイルのコピー開始後、「次のラベルのついたディスクをドライブA:に挿入してください」のメッセージが表示されたら、次のフロッピーディスクをセットし、[Enter]を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(Windows NT® 4.0)ドライバディスク」

25 ファイルのコピーが終了すると「ここまでのセットアップは正常に終了しました」というメッセージが表示されるので、ドライブからフロッピーディスク、CD-ROMを取り出し、[Enter]を押す
自動的に再起動します。

以上で、Windows NT 4.0のテキストセットアップは終了です。
次に「■グラフィックセットアップ」(P.112)へ進んでください。

■ スーパーディスクドライブ搭載モデルの場合

 **チェック!!** 「スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定」(P.102)でBIOSの設定を変更してからセットアップを行ってください。

- 1 Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)搭載モデルの場合は、手順6に進む
- 2 本機の電源を入れ、すぐにCD-ROMドライブに「Windows NT CD-ROM Disc1」をセット、フロッピーディスクドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をセットする

 **チェック!!** 手順28まで、「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」は取り出さないでください。

- 3 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、[Enter]を押す
- 4 画面の指示に従う
「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されます。
- 5 「IDE CD-ROM(ATAPI1.2)/PCI IDE Controller」が表示されていることを確認して[Enter]を押し、手順17に進む
- 6 本機の電源を入れ、すぐにCD-ROMドライブに「Windows NT CD-ROM Disc1」をセットする
- 7 「セットアップはコンピュータのハードウェア構成を検査しています」の画面が表示されたら、[F6]を押す
- 8 「セットアップはシステムにインストールされている1つ以上の大容量記憶装置の種類を判断できませんでした。」の画面が表示されたら、「追加デバイスの指定」を選択する

9 「次の一覧から使用するSCSI アダプタの種類…」のメッセージが表示されたら、「デバイスの一覧」から「その他」を選択し、【Enter】を押す

10 ドライバが入っているディスクをセットするように表示されるので、スーパーディスクドライブに「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller (Windows NT® 4.0) ドライバディスク」をセットし、【Enter】を押す

11 ドライバの一覧から次のドライバを選択し、【Enter】を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

12 「次の大容量記憶装置をサポートするドライバを読み込みます」の一覧に、次のものが追加されていることを確認する

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

13 追加されていることが確認できたら、「バックアップCD-ROM (OSを除く)用インストールディスク」をセットし、【Enter】を押す

✔ **チェック!!** 手順27まで「バックアップCD-ROM (OSを除く)用インストールディスク」は、絶対に取り出さないでください。誤って取り出してしまった場合、セットアップが途中でできなくなることがあります。

14 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

15 認識した大容量記憶装置の一覧に、次のものが追加されていることを確認し、【Enter】を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

16 「シリンダの数が1024を越えるハードディスクが存在します。」と表示されたら、[Enter]を押す

17 ライセンス契約画面が表示されるので、内容をよく読み[F8]を押す
【PageDown】を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、セットアップはできません。

 **チェック!!** 本機にその他のWindows NTがインストールされている場合、アップグレードするかどうか確認されますが、ここではアップグレードしないでセットアップを続けてください。

18 キーボードの種類を聞いてくるので、「106 日本語キーボード」を選択する
ここでは、接続しているキーボードの種類に関わらず、「106日本語キーボード」を選択してください。

19 「106日本語キーボード よろしいですか？(Y/N)」画面が表示されるので、[Y]を押す
USB接続キーボードドライバの変更は、Windows NT本体のセットアップ後に行います。

20 「コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェアがあります。」の画面で、[↑]を押して「コンピュータ：標準 PC」にあわせ、[Enter]を押す

21 「インストールするコンピュータの種類を変更します。」の画面で「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選択し、[Enter]を押す

22 ハードウェア提供のサポートディスクをセットするように表示されるので、[Enter]を押す

23 「ハードウェアメーカーから提供されたディスク…」の画面で「PC98-NX Mate NX」を選択し、[Enter]を押す

24 「コンピュータには、次のハードウェアとソフトがあります。」の画面で「コンピュータ:PC98-NX Mate NX」と表示されていることを確認して、[Enter]を押す

25 Windows NTをインストールするパーティション、ファイルシステム、ディレクトリの設定を行う

ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択してください。

NTFSファイルシステムをご使用になる場合は、FATファイルシステムでWindows NT 4.0のセットアップを行った後、ディスクアドミニストレータ、またはコマンドプロンプトからconvertコマンドを使用してNTFSファイルシステムに変換してください。

FATファイルシステムとNTFSファイルシステムの詳細は、『Microsoft Windows NT Server ファーストステップガイド』をご覧ください。

26 画面の指示に従ってセットアップを続行する

27 ファイルのコピー開始後、「次のラベルのついたディスクをドライブA:に挿入してください」のメッセージが表示されたら、以下のフロッピーディスクをセットし、[Enter]を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(Windows NT® 4.0) ドライブディスク」

28 ファイルのコピーが終了すると「ここまでのセットアップは正常に終了しました」というメッセージ表示されるので、ドライブからフロッピーディスク、CD-ROMを取り出し、[Enter]を押す自動的に再起動します。

以上で、Windows NT 4.0のテキストセットアップは終了です。
次に「■グラフィックセットアップ」へ進んでください。

■ グラフィックセットアップ

ここでは、内蔵LANを組み込む手順を説明します。

- 1 再起動するとCD-ROMの挿入要求のメッセージが表示されるので、「Windows NT Server CD-ROM Disc 1」をCD-ROMドライブにセットし、「OK」ボタンをクリック
- 2 グラフィックセットアップでは、次の設定を行う
これら設定の詳しい内容については、Windows NT Server 4.0に添付されている『Microsoft Windows NT Server ファーストステップガイド』をご覧ください。
 - ・ セットアップ方法の選択
 - ・ 個人情報の入力
 - ・ サーバーの種類の選択
 - ・ 管理者アカウントのパスワードの設定
 - ・ システム修復ディスク作成の選択
 - ・ インストールするファイルの選択以上の設定が終了したら、次にネットワークのインストールを行います。
- 3 「ネットワークに参加する」→「ネットワークに接続」を選択して「次へ」ボタンをクリック
- 4 Internet Information Serverをインストールするかどうかを選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 5 ネットワークアダプタの検索画面が表示されるので、「一覧から選択」ボタンをクリック
- 6 ネットワークアダプタの選択画面で「ディスク使用」ボタンをクリック

- 7 「フロッピーディスクの挿入」の画面が表示されるので、「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、次のように入力して「OK」ボタンをクリック

<MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/Cの場合>

A:\E100B

<MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Lの場合>

A:\ACC07D

- 8 「OEMオプションの選択」の画面が表示されるので、リストからネットワークアダプタを選択し、「OK」ボタンをクリック

<MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/Cの場合>

「Intel(R) PRO Adpter」

<MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Lの場合>

「Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter」

- 9 ネットワークアダプタの検索画面に選択したネットワークアダプタが表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

10 次にネットワークアダプタのセットアップを行う

- ・ ネットワークプロトコルの選択
- ・ ネットワークサービスの選択
- ・ ネットワークの設定の確認
- ・ ネットワークに必要なファイルのコピー
- ・ ネットワークバインドの調整
- ・ ワークグループまたはドメインの参加

これで、内蔵LANを組み込む手順が終了しました。後は画面の指示に従ってセットアップを行ってください。セットアップ完了後はWindows NTを再起動します。



チェック!!

3.5インチベイにスーパーディスクドライブが搭載されているモデルをお使いの方は、必ず「スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定」(P.102)で変更したBIOSの設定を元に戻してください。

USB接続キーボードをお使いの方は、必ず次の「USB接続キーボードドライバのセットアップ」に進んでください。PS/2 109キーボードをお使いの方は、「ドライバのアップデート」(P.115)に進んでください。

USB接続キーボードドライバのセットアップ

ここではUSB接続キーボードドライバのセットアップの手順について説明します。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「キーボード」をダブルクリック
- 3 「全般」タブをクリック
- 4 「変更」ボタンをクリック
- 5 「ディスク使用」ボタンをクリック
ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするように指示されます。
- 6 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットし、「D:\NT40\USB」を指定して、「OK」ボタンをクリック
- 7 「デバイスの選択」の画面で次のデバイスを選択し、「OK」ボタンをクリック

＜USB109キーボード、USB小型キーボードの場合＞
「USB109日本語キーボード(JIS配列)」

＜USB98配列キーボードの場合＞
「USB PC-9800 配列キーボード」
- 8 「閉じる」ボタンをクリック
- 9 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されたら、「バックアップCD-ROM」を取り出し、「はい」ボタンをクリック

- 10 再起動後、「バックアップCD-ROM」をCD-ROMドライブにセット
- 11 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 12 「ファイル名を指定して実行」画面で次のフォルダを指定し、「OK」ボタンをクリック
D:\NT40\NTUPDATE
- 13 画面の指示に従いセットアップを行う
- 14 セットアップが終了したら、本機を再起動する

以上でUSBキーボードドライバのセットアップは終了です。
次に「ドライバのアップデート」に進んでください。

ドライバのアップデート

次の手順でドライバのアップデートをします。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」をクリックし、コマンドプロンプトを起動する
- 2 「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 次のように入力する
ここでは、フロッピーディスクドライブをA、CD-ROMドライブをDとして説明しているので、実際と異なる場合は読み替えてください。以降は画面の指示に従ってください。

A:\NT40\CDNTUP D [Enter]
- 4 「CDドライブにWindows NT4.0 Service Pack5のCDをshiftキーを押しながらセットしてください…」のメッセージが表示されたら、「サービスパック 5」をCD-ROMドライブのトレイにセットし、[shift]を押し続けたままトレイジェクトボタンを押す



チェック!!

[shift]を途中で放すとInternet Explorerが起動します。この場合は、 ボタンをクリックして終了してください。

- 5 画面の指示に従い「サービスパック5」をインストールする自動的に再起動します。
- 6 再起動後「本機対応のWindows NT差分ファイルをインストールします」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 7 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブに、「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、「OK」ボタンをクリック
- 8 画面の指示に従いセットアップを行う
- 9 「本機対応Windows NT 4.0アップデート」の画面が表示されたら、メッセージをよく確認した上で「OK」ボタンをクリック
- 10 コピー終了後、「Windows NTに戻る」ボタンをクリック自動的に再起動します。

以上でドライバのアップデートは終了です。
次に「内蔵サウンドドライバのセットアップ」に進んでください。

内蔵サウンドドライバのセットアップ

■ MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/Sの場合

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「マルチメディア」アイコンをダブルクリック
- 3 「デバイス」タブをクリック
- 4 「追加」ボタンをクリック
- 5 ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 6 ドライバのインストール画面になるので、Windows NT ServerをインストールしたドライブのNT40\YMF740（例C:\NT40\YMF740）を指定し、「OK」ボタンをクリック
- 7 ドライバ一覧から「YAMAHA DS-XG Audio Driver (Japanese)」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 8 「YAMAHA DS-XGオーディオドライバ」の画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリック
- 9 再起動を促すメッセージが表示されたら、すべてのドライバのセットアップが完了している場合は「再起動する」ボタンをクリック

以上で内蔵サウンドドライバのセットアップは終了です。

次に「内蔵アクセラレータドライバのセットアップ」(P.120)に進んでください。

■MA46H/Sの場合

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 次のように入力し、「OK」ボタンをクリック
C:\NT40\AD1881\Setup.exe
- 3 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 4 「About SoundMAX Integrated Digital Audio」の画面で「OK」ボタンをクリック
- 5 「セットアップの完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」ボタンをクリック
自動的にWindows NT 4.0が再起動されます。
- 6 再起動後、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 7 「名前」に「C:\NT40\MIDI\SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 8 「Welcome」の画面で「Next」ボタンをクリック
- 9 「Setup Comeplete」の画面で「Yes,I want to restart my computer now」を選択し、「Finish」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

以上で内蔵サウンドドライバのセットアップは終了です。
次に「内蔵アクセラレータドライバのセットアップ」(P.120)に進んでください。

■ MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Lの場合

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 次のように入力して「OK」ボタンをクリック
C:\NT40\YMF752\SETUP.EXE
- 3 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 4 「YAMAHA AC-XG Audio Driver」の画面で「OK」ボタンをクリック
- 5 「YAMAHA AC-XG Driver」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。
- 6 再起動後、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 7 「ファイル名を指定して実行」の画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリック
C:\NT40\Y752MIDI\DISK1\SETUP.EXE
- 8 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 9 「製品ライセンス契約」の画面で「はい」ボタンをクリック
- 10 「インストール先の選択」の画面で「次へ」ボタンをクリック
ファイルのコピーが開始されます。
- 11 「情報」の画面で「OK」ボタンをクリック
- 12 「Windowsの再起動」の画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します」が選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

以上でサウンドドライバのセットアップは終了です。

次に「内蔵アクセラレータドライバのセットアップ」に進んでください。

内蔵アクセラレータドライバのセットアップ

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「画面」アイコンをダブルクリック
- 3 「ディスプレイの設定」タブをクリック
- 4 「ディスプレイの種類」ボタンをクリック
- 5 「変更」ボタンをクリック
- 6 「ディスク使用」ボタンをクリック
ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするよう指示されます。
- 7 次のディレクトリを指定して「OK」ボタンをクリック
<MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/Sの場合>
C:\NT40\SAVAGE4

<MA46H/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、
MA46H/Lの場合>
C:\NT40\I810GRPH
- 8 次のディスプレイリストボックスに表示されるディスプレイをクリック
<MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/Sの場合>
「S3 Inc.Savage4 Display Driver Version ***」

<MA46H/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、
MA46H/Lの場合>
「Intel Corporation 810 Graphics controller Hub」

はバージョン番号です。のところに表示される番号は機種によって異なる場合があります。

9 「サードパーティドライバをインストールしようとしています」のメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリック

10 この後は画面に表示されるメッセージに従って操作する

以上で内蔵アクセラレータドライバのセットアップは終了です。

次に、FAXモデムボード搭載モデルの場合は、「内蔵FAXモデムボードのセットアップ」、スーパーディスクドライブ搭載モデルの場合は「スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ」(P.122)に進んでください。その他のモデルの場合はこれでWindows NT Server 4.0のセットアップは終了です。

内蔵FAXモデムボードのセットアップ

本体内蔵FAXモデムボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

2 「名前」に「C:\NT40\RWMODEM\SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリック

3 「モデムボードインストールウィザード」の画面で、「次へ」ボタンをクリック

4 「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(DJP)」が表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

5 「モデムドライバのインストールが成功しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

6 本機を再起動する

以上で内蔵FAXモデムボードのセットアップは終了しました。

次に、スーパーディスクドライブ搭載モデルの場合は、「スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ」に進んでください。その他のモデルの場合は、これでWindows NT Server 4.0のセットアップは終了です。

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ

スーパーディスクドライブ搭載モデルで、1.2MB(512バイト/セクタ、1024バイト/セクタ)フォーマットのフロッピーディスクを使用する場合は、スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティをセットアップする必要があります。

720KB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)しか使用しない場合は、このセットアップは必要ありません。



1.2MB(1024バイト/セクタ)は、PC-9800シリーズの1.25MB(1024バイト/セクタ)のことです。

専用フォーマットユーティリティでは、「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」と表示されます。

- 1 「コントロールパネル」→「SCSIアダプタ」をクリック
- 2 「ドライバ」タブをクリック
- 3 「追加」ボタンをクリック
- 4 「ドライバのインストール」画面で「ディスク使用」ボタンをクリック
- 5 「フロッピーディスクからインストール」画面で「配布ファイルのコピー元」にC:\NT40\LS120DRVを指定し、「OK」ボタンをクリック
- 6 「SCSIアダプタ」の一覧に「Panasonic SuperDisk」があることを確認し、「OK」ボタンをクリック
- 7 「Windows NT セットアップ」画面でC:\NT40\LS120DRVと指定し、「続行」ボタンをクリック
- 8 「今すぐコンピュータを再起動しますか？」のメッセージが表示されますので、フロッピーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリック

9 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

10 「名前」にC:\NT40\MKELS120\SETUP.EXEと指定し、「OK」ボタンをクリック

11 後はメッセージに従ってセットアップを行う

以上でスーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップは終了です。

これでWindows NT Server 4.0のセットアップは終了です。

本機でWindows NT Server 4.0を利用するときの注意

- ・ 本機に添付されているドライバは本機専用です。他機種では使用できません。
- ・ 別売の100 BASE-TXインターフェースボード PK-UG-X006またはPK-UG-X006Eを使用する場合は、『活用ガイド 再セットアップ編』「PART1 再セットアップする」「個別再セットアップをする」の「再セットアップ後のネットワーク設定について」をご覧ください。

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティについて

専用フォーマットユーティリティの起動方法、注意事項および削除方法については、『活用ガイド 再セットアップ編』「PART1 再セットアップする」「個別再セットアップをする」の「スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティについて」をご覧ください。



Windows 98を利用する

本機で別売のWindows 98 Second EditionまたはWindows 98を利用する場合のセットアップ手順について説明します。

Windows 98をセットアップする前に

ここでは、セットアップを行う際に必要な情報や注意事項について説明しています。

セットアップを始める前に必ずお読みください。

セットアップには、約100分～150分程度の時間がかかります。

準備するもの

セットアップを行うには、次のものがが必要です。あらかじめ準備しておいてください。

- ・「バックアップCD-ROM(OSを除く)」(本機添付)
- ・「Microsoft® Windows® 98 Second Edition」(別売)または「Microsoft® Windows® 98」(別売)

また、NetPCモデルの場合は、次のものを準備しておいてください。

- ・ 管理者用FDドライブキット(PC-NF-U001)(別売)
- ・ 管理者用FDドライブキット接続ケーブル(PC-NF-U002)(別売)
- ・ 「管理者用FDドライブキット(PC-NF-U001)(別売)」に添付されている次のフロッピーディスク

「起動ディスク#1」

「起動ディスク#2」

- ・ 新しいフロッピーディスク
フロッピーディスクには「内蔵LANボード対応ドライバディスク」のラベルを貼っておいてください。

セットアップに関する注意

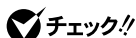
- ・「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」には、このマニュアルに掲載されていない最新情報が記載されている場合があります。セットアップを行う前に必ずご覧ください。
- ・ NetPCモデルの場合は、「管理者用FDドライブキット(PC-NF-U001)」(別売)の外付けフロッピーディスクドライブを接続する必要があります。また、本機に接続する際、「管理者用FDドライブキット接続ケーブル(PC-NF-U002)」(別売)が必要です。
また、本機とネットワークにて接続された、CD-ROMドライブを内蔵するパソコン(Windows NT Workstation 4.0、Windows NT Server 4.0、Windows NT Workstation 3.51 または Windows NT Server 3.51のいずれかがインストールされたもの)が必要です。
- ・ Windows NT 4.0を削除し、Windows 98 Second EditionまたはWindows 98をセットアップする場合、必ずデータをバックアップしてください。自分で作成したデータはセットアップによってすべて消去されてしまいます。
- ・ 別売の周辺機器はすべて取り外してください。『はじめにお読みください』をご覧ください。本機に添付されていた機器のみを接続した状態でセットアップを行ってください。NetPCモデルの場合は、フロッピーディスクドライブが必要です。セットアップ後に、別売の周辺機器の接続を行ってください。
- ・ 別売のアプリケーションは、セットアップの完了後にインストールを行ってください。別売のアプリケーションもセットアップによってすべて消去されます。セットアップがすべて完了してからインストールを行ってください。
- ・ セットアップは途中で中断しないでください。もし中断した場合は、最初からやり直してください。
- ・ セットアップ中は電源スイッチを押さないでください。
- ・ Windows NTとのデュアルブートによるセットアップ後はWindows NTローダが書き換えられ、Windows NTが起動しなくなるので、Windows NTの修復セットアップを必ず行ってください。
- ・ Windows 98をご使用になる場合には、2000年問題対応が必要になります。NECのインターネットのホームページ「98Information」で、コンピュータの2000年問題対応について、情報を提供していますので、セットアップ後に必ず次のアドレスにアクセスし、Windows 98の2000年問題対応の情報および修正プログラムを入手して適用してください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

セットアップする前の確認事項

BIOSの設定を以下のように設定してください。

■ MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/C、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L の場合



チェック!

BIOSセットアップメニューは、工場出荷時の状態では英語で表示されます。以下の説明は、日本語で表示されたメニューで説明しています。日本語のメニューを表示する方法は、『活用ガイド ハードウェア編』『PART2 システム設定』をご覧ください。

1 本体の電源を入れる

2 「NEC」のロゴの表示画面で「<F2>:BIOSセットアップメニューを起動します、<F12>:ネットワークブートします。」と表示されたら、[F2]を押す

3 メニューバーの「詳細」で次のように設定する

- ・ プラグ&プレイOS : はい
 - ・ 周辺機器設定
 - シリアルポートA : 使用する
 - シリアルポートB : 使用する
- MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合、シリアルポートBの設定は必要ありません。
- パラレルポート : 使用する

4 メニューバーの「省電力管理」で次のように設定する

- MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合、設定は必要ありません。
- ・ 入力装置によるレジューム : オン

5 メニューバーの「終了」で「変更を保存して終了する」を選択し、[Enter]を押す

6 「はい」を選択し、[Enter]を押す

以上でBIOSの設定は終了です。

NetPCモデルの場合は、「NetPCモデルの設定」、その他のモデルの場合は、「Windows 98のセットアップ」(P.128)に進んでください。

■ MA46H/Sの場合

- 1 本体の電源を入れ、「NEC」のロゴ画面が表示されたら、すぐに【F2】を押す
- 2 「PCI/PLUG and Play Setup」の「Plug and Play Aware O/S」を「Yes」に設定する
- 3 「Save Settings and Exit」を選択し、【Enter】を押す
- 4 「Save Current Settings and exit(Y/N)?」と表示されたら【Enter】を押す

以上でBIOSの設定は終了です。

次に「Windows 98のセットアップ」(P.128)に進んでください。

NetPCモデルの設定

NetPCモデルの場合は、次の手順でセットアップする準備を行ってください。

- 1 『活用ガイド 再セットアップ編』「PART1 再セットアップする」「個別再セットアップをする」「NetPCモデルの設定」をご覧になり、起動ディスクの環境の変更とシステム設定の変更を行う
- 2 エクスプローラで「内蔵LANボード対応ドライバディスク」に「\WIN98\ACC07DTX」フォルダを作成し、「バックアップCD-ROM(OSを除く)」の「\WIN98\ACC07DTX」フォルダ下のファイルをすべてコピーする
「内蔵LANボード対応ドライバディスク」は、用意したフロッピーディスクです。



チェック!

本機とネットワークにて接続するCD-ROMドライブを内蔵したコンピュータなど、CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブが利用できるコンピュータにてコピーを行ってください。

次に「Windows 98のセットアップ」に進んでください。

Windows 98のセットアップ

次の手順でセットアップを行います。

- ・ Windows 98 Second EditionおよびWindows 98のセットアップ
- ・ プラグアンドプレイの設定
- ・ USB接続キーボードドライバのセットアップ
- ・ USB接続マウスドライバのセットアップ
- ・ IDEハードディスクコントローラの設定
- ・ 内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ
- ・ 内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ
- ・ 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ
- ・ モニタの設定
- ・ スーパーディスクドライバのセットアップ
- ・ フロッピーディスクドライバのセットアップ
- ・ MS-DOSモード用CD-ROMドライバのセットアップ
- ・ 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ
- ・ ソフトウェアパワーOFF機能のセットアップ
- ・ Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)ドライバのセットアップ

ここでは、次のようなドライブ構成(インストールされているWindows NT 4.0を削除して、Windows 98 Second EditionまたはWindows 98をインストールする場合の構成)になっている場合を例に説明しています。利用される環境にあわせて読み替えてください。

Aドライブ : フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブ

Cドライブ : Windows 98 Second EditionまたはWindows 98をインストールするドライブ
(Windows 98 Second EditionまたはWindows 98を新規でインストールするフォルダC:\Windows)

Qドライブ : CD-ROMドライブまたはCD-RWドライブ



チェック!

- ・ お使いの機種によってドライバのセットアップ方法が多少違います。それぞれ該当する部分をご覧ください。
- ・ Windows 98 Second Edition と Windows 98では、ドライバのセットアップ方法が異なる場合があります。該当する部分をご覧ください。
- ・ 「Windows 98へようこそ」ウィンドウが一番前に表示されている場合は、タイトルバーの  ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてください。

- ・「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」をセットした後、AutoRun機能により「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98CD-ROM」の画面が表示されることがあります。画面が表示された場合は、 ボタンをクリックして終了させ処理を続けてください。

Windows 98 Second EditionおよびWindows 98のセットアップ

■ NetPCモデル以外のモデルの場合

NetPCモデル以外のモデルの場合は、『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』をご覧ください。Windows 98 Second EditionまたはWindows 98をセットアップしてください。セットアップが終了したら、MA46H/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Lをお使いの方は、「プラグアンドプレイの設定」(P.132)へ進んでください。その他の機種で、USB接続キーボードをお使いの方は「USB接続キーボードドライバのセットアップ」(P.135)、PS/2 109キーボードをお使いで、内蔵LANボード搭載モデルの場合は「内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ」(P.142)、内蔵FAXモデムボード搭載モデルの場合は「内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ」(P.145)へ進んでください。

■ NetPCモデルの場合

NetPCモデルの場合は、ネットワークを使用してWindows 98 Second EditionまたはWindows 98のセットアップを行います。次の手順でセットアップしてください。

- 1 『活用ガイド 再セットアップ編』「PART1 再セットアップする」「個別再セットアップをする」「Windows NTの再セットアップ」「■NetPCモデルの場合」の手順1～11を行う
- 2 コマンドプロンプトから次のように入力し、一時フォルダを作成する
C: [Enter]
MD WIN98TMP [Enter]
- 3 共有したCD-ROMドライブに「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」をセットする

4 コマンドプロンプトから次のように入力し、共有したCD-ROM
ドライブからファイルをコピーする
<共有したCD-ROMドライブ名>: [Enter]
CD WIN98 [Enter]
COPY*. *C:\WIN98TMP [Enter]

5 「起動ディスク #1」の「CONFIG.SYS」ファイルを次のように編集する

```
:  
:  
rem DEVICE=A:\LANMAN.DOS\DRIVERS\PROTMAN\  
PROTMAN.DOS /i:A:\LANMAN.DOS      ← remを追加  
  
rem DEVICE=A:\LANMAN.DOS\DRIVERS\ETHERNET\  
E100B\E100B.DOS                    ← remを追加  
  
rem DEVICE=A:\LANMAN.DOS\DRIVERS\PROTOCOL\  
tcpip\tcpdrv.dos /i:A:\LANMAN.DOS  ← remを追加  
  
rem DEVICE=A:\LANMAN.DOS\DRIVERS\PROTOCOL\  
tcpip\nemm.dos                     ← remを追加  
:
```

6 「起動ディスク #1」の「AUTOEXEC.BAT」ファイルを次のように編集する

```
:  
:  
rem A:\DOS\SMARTDRV.EXE /X          ← remを追加  
:  
rem ECHO ディスク2に交換してください。 ← remを追加  
rem PAUSE                          ← remを追加  
rem IF NOT EXIST \LANMAN.DOS\NETPROG\NET.EXE  
GOTO LOOP                          ← remを追加  
:  
:
```

```
rem SET PATH=A:\LANMAN.DOS\NETPROG;%PATH%
                                     ← remを追加
rem A:\LANMAN.DOS\DRIVERS\PROTOCOL\tcpip\
umb.com                             ← remを追加
rem NET START WORKSTATION          ← remを追加
rem LOAD TCPIP                     ← remを追加
rem NET LOGON                       ← remを追加
:
```

7 「起動ディスク#1」をフロッピーディスクドライブにセットし、本機を再起動する

8 コマンドプロンプトから次のように入力し、ファイルをコピーした一時フォルダから、セットアップを実行する

```
C: [Enter]
CD WIN98TMP [Enter]
SETUP [Enter]
```

9 『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』をご覧になり、セットアップする

10 セットアップが終了し、Windowsが起動したら、「内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ」(P.142)の手順を行う
その際、「バックアップCD-ROM(OSを除く)」を「内蔵LANボード対応ドライバディスク」に、ドライブ名「Q」を「A」に読み替えてください。

11 内蔵LANボード対応ドライバのセットアップが終了したら、ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当てる

ネットワークドライブの割り当て方法は、『活用ガイド 再セットアップ編』「PART1 再セットアップする」「個別再セットアップをする」「ネットワークドライブの設定(NetPCモデルのみ)」をご覧ください。

その際、手順3の「Windows NT エクスプローラ」は「エクスプローラ」に読み替えてください。また、CD-ROMドライブは「Q」ドライブに割り当ててください。フロッピーディスクドライブは、割り当てる必要ありません。

- 12 共有したCD-ROMドライブに「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」をセットする
- 13 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に「Q:\WIN98\SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 14 セットアップが終了したら、共有したCD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする

次に「プラグアンドプレイの設定」に進んでください。

プラグアンドプレイの設定

MA46H/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/Cをお使いの方は、次の手順でプラグアンドプレイの設定を行います。MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lをお使いの方はプラグアンドプレイの設定は必要ありません。手順10以降の説明を読んで次に進んでください。

■Windows98 Second Editionの場合

- 1 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック
- 3 MS-DOSプロンプトから次のように入力する
Q: [Enter]
CD \WIN98\OTHER [Enter]
CHIPINST [Enter]
EXIT [Enter]
- 4 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 5 「システム」をダブルクリック
- 6 「デバイスマネージャ」タブをクリック

7 次のデバイスが存在する場合はクリックし、「削除」ボタンをクリック

- ・「その他のデバイス」の「Intel Firmware Hub」
- ・「システムデバイス」の「PCI 標準ホスト CPU ブリッジ」



チェック!

「デバイス削除の確認」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

8 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリック

9 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

10 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリック 再起動します。

以上でプラグアンドプレイの設定は終了です。

次にUSB接続キーボードをお使いの方は「USB接続キーボードドライバのセットアップ」(P.135)、PS/2 109キーボードをお使いで、NetPCモデルの場合は「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」(P.147)、LANボード搭載モデルの場合は「内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ」(P.142)、FAXモデムボード搭載モデルの場合は「内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ」(P.145)へ進んでください。

■Windows 98の場合

1 CD-ROMドライブに、「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック

3 MS-DOSプロンプトから次のように入力する

Q: [Enter]
CD \WIN98\OTHER [Enter]
INFINST [Enter]
EXIT [Enter]

4 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

5 「システム」をダブルクリック

6 「デバイスマネージャ」タブをクリック

7 次のデバイスが存在する場合はクリックし、「削除」ボタンをクリック

- ・「その他のデバイス」の「Intel Firmware Hub」
- ・「その他のデバイス」の「PCI System Management Bus」
- ・「システムデバイス」の「PCI 標準ホスト CPU ブリッジ」
- ・「システムデバイス」の「PCI 標準 ISA ブリッジ」

 **チェック!** 「デバイス削除の確認」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

8 「システムのプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリック

9 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

10 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリック
自動的に再起動します。

 **チェック!** ・「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示される度に、手順11～17を繰り返してください。表示されない場合は、手順18へ進んでください。
・USB接続のマウスを使用している場合、手順11～17でマウスが使用できなくなる場合があります。その場合はキーボードで操作してください。

11 再起動中、「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示された場合は「次へ」ボタンをクリック

12 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

13 「次へ」ボタンをクリック

14 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」というメッセージが表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

15 「完了」ボタンをクリック

- 16 「ディスクの挿入」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 17 「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「ファイルのコピー元」に「Q:\WIN98」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 18 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリック
再起動します。

以上でプラグアンドプレイの設定は終了です。

次にUSB接続キーボードをお使いの方は「USB接続キーボードドライバのセットアップ」、PS/2 109キーボードをお使いの方は「IDEハードディスクコントローラの設定」(P.140)へ進んでください。

USB接続キーボードドライバのセットアップ

USB接続キーボードを使用している場合は、次の手順でドライバをセットアップします。

■USB接続キーボードドライバをセットアップする

- 1 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットする
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック
Q:\WIN98\USBKBD\SETUP98.EXE
- 4 「USBキーボードドライバセットアップ」の画面で「USBキーボードドライバをセットアップします。よろしいですか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 5 「Windows 98 Second Edition CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください。」または「Windows 98 CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

6 「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットした後、現在使用しているUSB接続キーボードを抜き、再度接続する



チェック!!

- ・「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットすると、CD-ROMアクセスランプが点灯しますので、ランプが消えてからUSB接続キーボードを抜き、再度接続してください。
- ・「Windows98 Second Edition CD-ROM」ラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」または「Windows98 CD-ROM」ラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示された場合は、USBマウスを使用し、「OK」ボタンをクリック後、「ファイルのコピー元」に「Q:\WIN98」を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。

7 ドライバのコピーが終了したら、「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

8 「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック 再起動します。

USB98配列キーボードをお使いの方は、続けて「■USB98配列キーボードドライバをセットアップする」へ進んでください。

USB109キーボード、USB小型キーボードをお使いの方は、以上で設定は終了です。

次に「USB接続マウスドライバのセットアップ」(P.138)へ進んでください。

■USB98配列キーボードドライバをセットアップする

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「システム」をダブルクリック

3 「デバイスマネージャ」タブをクリック

4 「キーボード」をダブルクリック

5 「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック

- 6 「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)のプロパティ」の画面で「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック
- 7 「デバイス ドライバの更新ウィザード」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 8 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「すべてのハードウェアを表示」をクリックし、「製造元」から「NEC Keyboard drivers」をクリック
- 10 「モデル」から、次のどちらかのドライバを選択し、「次へ」ボタンをクリック
 - ・ NEC 98 Layout Keyboard (CTRL+XFER)
Windows上での日本語入力のOn/Off切り替えを【CTRL】+【XFER】で行うことができます。
 - ・ NEC 98 Layout Keyboard (XFER)
Windows上での日本語入力のOn/Off切り替えを【XFER】で行うことができます。
- 11 「ドライバ更新の警告」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 12 「次へ」ボタンをクリック
- 13 「'Windows 98 Second Edition CD-ROM'ラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」または「'Windows 98 CD-ROM'ラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示された場合は、「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」をセットして、「OK」ボタンをクリック

14 「jkeyb.sysが見つかりませんでした。」というメッセージが表示された場合は、CD-ROMのアクセスランプが消灯してから、「OK」ボタンをクリック

15 「完了」ボタンをクリック

16 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

 **チェック!** 再起動を促すメッセージが表示されない場合は「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックし、「Windowsの終了」の画面で、「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリックしてください。

以上で設定は終了です。

次に「USB接続マウスドライバのセットアップ」へ進んでください。

USB接続マウスドライバのセットアップ

USB接続マウスを使用している場合は、次の手順でドライバをセットアップします。

1 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットする

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

3 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

Q:\WIN98\USBMO\SETUP98.EXE

4 「USBマウスドライバセットアップ」の画面で「USBマウスドライバをセットアップします。よろしいですか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

5 「Mitsumi Mouse Driver Disk上のファイル usbmo.infが見つかりませんでした」というメッセージが表示された場合は、「ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

Q:\WIN98\USBMO

- 6 「Windows 98 Second Edition CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください」または「Windows 98 CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください」というメッセージが表示されたら、「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「OK」ボタンをクリック
- 7 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 8 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリック
- 9 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- 10 「ヒューマン インターフェイス デバイス」-「USBヒューマン インターフェイス デバイス」をクリックし、「削除」ボタンをクリック
- 11 「デバイス削除の確認」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 12 USBマウスをUSBポートからいったん抜き、再度接続する
- 13 ドライバのインストール終了後、「システムのプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリック

以上で設定は終了です。

次にMA46H/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lをお使いの方でWindows 98をセットアップした場合は「IDEハードディスクコントローラの設定」、その他の機種またはWindows 98 Second Editionをセットアップした場合でNetPCモデルの場合は「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」(P.147)、LANボード搭載モデルの場合は「内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ」(P.142)、FAXモデムボード搭載モデルの場合は「内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ」(P.145)へ進んでください。

IDEハードディスクコントローラの設定

MA46H/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lをお使いの方で、Windows 98をセットアップした場合は、次の手順でIDEハードディスクコントローラの設定を行います。Windows 98 Second Editionをセットアップした場合は、次の手順は必要ありません。

1 CD-ROMドライブに、「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック

3 MS-DOSプロンプトから次のように入力する

Q: [Enter]
CD \WIN98\OTHER [Enter]
IDEINST [Enter]
EXIT [Enter]

4 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

5 「システム」をダブルクリック

6 「デバイスマネージャ」タブをクリック

7 次のデバイスが存在する場合はクリックし、「削除」ボタンをクリック

- ・「ハードディスクコントローラ」の「標準IDE/ESDIハードディスクコントローラ」
- ・「ハードディスクコントローラ」の「標準デュアルPCI IDEコントローラ」

 **チェック!!** 「デバイス削除の確認」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。

8 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

- 9 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック
「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されなかった場合は、手順16へ進む
- 10 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「検索場所の指定」のみにチェックを付ける
- 12 検索場所に「C:\WINDOWS\INF」と入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 13 「どのドライバをインストールしますか」というメッセージが表示された場合は、「更新されたドライバ(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 14 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」というメッセージが表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック
- 15 「完了」をクリック
- 16 再起動中に、再起動を促すメッセージが表示された場合は「はい」をクリック



チェック!

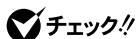
IDEハードディスクコントローラを設定すると、以降、CD-ROMドライブのドライブ番号が変更されることがありますので、注意してください。

以上で「IDEハードディスクコントローラの設定」は終了です。

次にNetPCモデルの場合は「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」(P.147)、LANボード搭載モデルの場合は「内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ」、FAXモデムボード搭載モデルの場合は「内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ」(P.145)へ進んでください。

内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ

内蔵LANボード搭載モデルの場合は、次の手順でドライバをセットアップします。



チェック!

- ・ドライバのセットアップを行うと、ネットワークの設定内容が一部初期化されることがあります。セットアップを行う前に、ネットワークの設定を控えておいてください。
- ・「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」を要求するメッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。
- ・次のファイルが要求された場合には、「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットし、「ファイルのコピー元」に「Q:\WIN98\100BASE」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- e100b.cat	- e100b.sys	- e100bnt.sys
- e100bnt5.sys	- net82557.inf	- 8255xndi.dll
- wol558.vxd	- 8255xdel.exe	- prokddp.vxd
- prodd.vxd	- promon.exe	- prosetp.cnt
- prosetp.cpl	- prosetp.hlp	

- ・次のファイルが要求された場合には「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットし、「ファイルのコピー元」に「Q:\WIN98\ACC07DTX」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

acc07d.sys	netacc07.inf	netacc07.cat
------------	--------------	--------------

- ・上記以外のファイルを要求された場合には、「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「ファイルのコピー元」に「Q:\WIN98」と入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「ネットワーク」をダブルクリック

3 「現在のネットワークコンポーネント」に次のデバイスが存在する場合はクリックし、「削除」ボタンをクリック

＜MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/Cの場合＞

- Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)
- NEC PC-9821X-B06 (PCI) or compatible/Intel 82557-based Ethernet
- NEC PK-UG-X006 (PCI) or compatible Fast Ethernet Adapter
- NEC 82559-based Fast Ethernet Adapter

＜MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合＞

- Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter
- Accton EN1207D-TX Series PCI Fast Ethernet Adapter

4 「ネットワーク」の画面で「OK」ボタンをクリック

5 再起動を促すメッセージが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリック

6 「システム」をダブルクリック

7 「デバイスマネージャ」タブをクリック

8 「その他のデバイス」に「PCI Ethernet Controller」が存在する場合は、「PCI Ethernet Controller」をクリックし、「削除」ボタンをクリック

9 「デバイス削除の確認」の画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリック

10 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリック

11 「システムのプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンまたは「OK」ボタンをクリック

12 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM (OSを除く)」をセットする

13 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック

14 MS-DOSプロンプトから次のように入力する

<MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/C、
MA55J/C、MA50J/C の場合>

Q: [Enter]

CD \WIN98\100BASE [Enter]

REPX006 C:\WINDOWS [Enter]

<MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合>

Q:[Enter]

CD \WIN98\ACC07DTX[Enter]

DELACC07[Enter]

15 「正常に終了しました。」というメッセージが表示されたら、次のように入力する

EXIT [Enter]

16 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

17 「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
再起動します。

18 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されたら、検出されたデバイスが「PCI Ethernet Controller」であることを確認した後、「次へ」ボタンをクリック

19 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

20 「検索場所の指定」のみにチェックを付け、検索場所に次のように入力し、「次へ」ボタンをクリック

<MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/C、
MA55J/C、MA50J/C の場合>

Q:\WIN98\100BASE

<MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合>

Q:\WIN98\ACC07DTX

21 次のドライバを検出したことを確認後、「更新されたドライバ(推奨)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

<MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/Cの場合>

NEC 82559-based Fast Ethernet Adapter

<MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合>

Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter

22 「次へ」ボタンをクリック

ネットワークの設定に必要なファイルのコピーが始まりますので、メッセージに従ってセットアップしてください。

23 ファイルコピー終了後、「完了」ボタンをクリック

24 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

以上でセットアップは終了です。

次に「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」(P.147)に進んでください。

内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ

内蔵FAXモデムボード搭載モデルの場合は、次の手順でドライバをセットアップします。

1 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットする

2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

3 「システム」をダブルクリック

4 「デバイスマネージャ」タブをクリック

- 5 「その他のデバイス」をクリックし、「PCI Communication Device」をクリックして、「プロパティ」ボタンをクリック
- 6 「PCI Communication Deviceのプロパティ」の画面の「ドライバの再インストール」ボタンをクリック
- 7 「デバイスドライバの更新ウィザード」で「次へ」ボタンをクリックし、「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「検索場所の指定」にチェックを付け、「Q:\WIN98\MDMMATE」と入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「次へ」ボタンをクリック
モデムが自動的に認識されます。
- 10 「完了」ボタンをクリック
- 11 「閉じる」ボタンをクリック
- 12 「システムのプロパティ」の画面の「OK」ボタンまたは「閉じる」ボタンをクリック
- 13 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
- 14 「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック

以上で、内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップは終了です。
次に「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」に進んでください。

内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

本機内蔵アクセラレータを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

- 1 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」を CD-ROMドライブにセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「画面」をダブルクリック
「画面のプロパティ」画面が表示されます。
- 4 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリック
- 5 「アダプタ」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリック
「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されます。
- 6 「次へ」ボタンをクリック
- 7 検索方法で「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「ディスク使用」ボタンをクリック
- 9 配布ファイルのコピー元に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

<MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S の場合>
Q:\WIN98\SAVAGE4

<MA46H/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、
MA46H/Z、MA46H/L の場合>
Q:\WIN98\I810GRPH

10 「デバイスの選択」の画面で次のモデルをクリックし、「OK」ボタンをクリック

<MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S の場合>
NEC Savage4

<MA46H/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、
MA46H/Z、MA46H/L の場合>

次のいずれか1つだけ表示されます

- Intel(R) 810 Chipset Graphics Driver(NEC)
- Intel(R) 810e Chipset Graphics Driver(NEC)

 **チェック!** 「ドライバの更新の警告」の画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

11 「次へ」ボタンをクリック

自動的にドライバのコピーが行われます。

 **チェック!** 「バージョンの競合」の画面が表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

12 「完了」ボタンをクリック

13 「閉じる」ボタンをクリックし、「画面のプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリック

14 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

MA46H/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、
MA46H/L の場合は、以上で内蔵アクセラレータ対応ドライバのセット
アップは終了です。

次に「モニタの設定」に進んでください。

15 再起動後、「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック

16 「Q:\WIN98\SAVAGE4」フォルダの「S3GAMMA.INF」ファイルを右クリックし、メニューから「インストール」をクリック

以上で内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップは終了です。次に「モニタの設定」に進んでください。

モニタの設定

Windows 98セットアップ完了後、Windows 98が起動するとプラグアンドプレイモニタを自動的に検出し、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に起動するようになっています。ただし、モニタの種類によって自動検出されない場合もありますので、その場合は、後述の「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(P.150)をご覧ください。

■「新しいハードウェアの追加ウィザード」から設定する
モニタを利用するため、次の手順で設定します。

- 1 「プラグアンドプレイモニタ」と表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック
- 2 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 3 「検索場所の指定」のみにチェックを付ける
- 4 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットし、「検索場所」に次のように入力し、「次へ」ボタンをクリック
19型フルフラットCRTディスプレイ(FE90)をお使いの場合は、フロッピーディスクドライブに「システムインストールディスク(起動用)」をセットし、ドライブ名「Q」を「A」に読み替えてください。

Q:\WIN98\MONITOR

- 5 「更新されたドライバ(推奨)」に、現在使用中のモニタ名称が表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック
- 6 「次へ」ボタンをクリック
自動的にモジュールのコピーが行われます。

7 「完了」ボタンをクリック

8 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

**9 「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
再起動します。**

以上でモニタの設定は終了です。

次に、NetPCモデルの場合は「内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ」(P.156)スーパーディスクドライブ搭載モデルの場合は、「スーパーディスクドライバのセットアップ」(P.152)、フロッピーディスクドライブ搭載モデルの場合は、「フロッピーディスクドライバのセットアップ」(P.152)に進んでください。

■「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合は、次の手順で設定します。

**1 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブに
セットする**

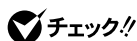
2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

3 「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリック

4 「設定」タブをクリック

5 「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリック

**6 「モニタ」タブで「プラグアンドプレイモニタ」と表示されている
場合は、「変更」ボタンをクリック**



チェック!

ここで、お客様がお使いのモニタ名称が表示されている場合は、以下の手順は不要ですので、「キャンセル」ボタンを2回クリックして「モニタの設定」を終了してください。

**7 「デバイスドライバの更新ウィザード」の画面が表示されたら、
「次へ」ボタンをクリック**

**8 検索方法で「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、
インストールするドライバを選択する」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック**

9 「ディスク使用」ボタンをクリックし、「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

19型フルフラットCRTディスプレイ (FE90)をお使いの場合は、フロッピーディスクドライブに「システムインストールディスク(起動用)」をセットし、ドライブ名「Q」を「A」に読み替えてください。

Q:\WIN98\MONITOR

10 一覧にお客様がご使用のモニタ名称が表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリック

✓チェック!! 「ドライバの更新の警告」の画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

11 「次へ」ボタンをクリック 自動的にドライバのコピーが行われます。

✓チェック!! 「ディスクの挿入」の画面が表示された場合は、次の手順を実行してください。

- ①「ディスクの挿入」の画面の「OK」ボタンをクリック
- ②「ファイルのコピー」の画面の「ファイルのコピー元」に次のように入力する
Q:\WIN98\MONITOR
- ③「OK」ボタンをクリック

12 「完了」ボタンをクリック

13 「閉じる」ボタンをクリック

✓チェック!! 「リフレッシュレート」画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。再度、「リフレッシュレート」画面が表示されますので、「はい」ボタンをクリックしてください。

14 「画面のプロパティ」画面で「OK」ボタンをクリック

以上でモニタの設定は終了です。

次にNetPCモデルの場合は「内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ」(P.156)、スーパーディスクドライブ搭載モデルの場合は、「スーパーディスクドライブのセットアップ」、フロッピーディスクドライブ搭載モデルの場合は、「フロッピーディスクドライブのセットアップ」(P.152)に進んでください。

スーパーディスクドライバのセットアップ

スーパーディスクドライブ搭載モデルの場合は、次の手順でドライバをセットアップします。

- 1 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROM ドライブにセットする
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック
- 3 MS-DOSプロンプトから次のように入力する
Q: [Enter]
CD \WIN98\LS120 [Enter]
SDINST [Enter]
EXIT [Enter]
- 4 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
- 5 「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
再起動します。

以上でスーパーディスクドライバのセットアップは終了です。
次にフロッピーディスクドライブ搭載モデルの場合は、「フロッピーディスクドライバのセットアップ」、その他のモデルの場合は、「MS-DOSモード用CD-ROMドライバのセットアップ」(P.155)に進んでください。

フロッピーディスクドライバのセットアップ

フロッピーディスクドライブ搭載モデルの場合は、次の手順でドライバをセットアップします。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリック

4 次のデバイスがある場合は選択し、「削除」ボタンをクリック

<MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S の場合>
NEC 3-mode Floppy(FDC37C675)

<MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/L の場合>
NEC 3-mode Floppy(LPC47B27x)

<MA46H/S の場合>
Winbond 3-mode Floppy Controller



チェック!

上記が存在しなかった場合には、「OK」ボタンをクリックし、手順10に進んでください。

5 「デバイス削除の確認」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

6 「システムのプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリック

7 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

8 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリック Windowsが再起動します。

9 再起動後、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

10 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットする

11 「ハードウェアの追加」をダブルクリック

12 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

13 「システムにあるプラグ アンド プレイ機器を検索します。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック 検索が開始されます。

14 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」というメッセージが表示された場合、「デバイスは一覧にない」をクリックして「次へ」ボタンをクリック

15 「プラグ アンド プレイ以外の新しいハードウェアが自動的に検出されます。」というメッセージが表示された場合、「いいえ (一覧から選択する)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

16 「ハードウェアの種類」のリストの中から「フロッピーディスク コントローラ」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

17 製造元とモデルを選択する画面が表示されるので、「ディスク 使用」ボタンをクリック

18 インストールするディスクの場所を入力するウィンドウが表示されるので、「配布ファイルのコピー元」に 次のように入力し、「OK」をクリック

<MA60J/M, MA50J/M, MA70J/S, MA55J/S, MA50J/S の場合>

Q:\WIN98\3MODEFD1

<MA60J/C, MA55J/C, MA50J/C, MA46H/C, MA46H/L の場合>

Q:\WIN98\3MODEFD2

<MA46H/S の場合>

Q:\WIN98\3MODEFD4

19 「モデル」のリストの中から次のデバイスを選択し、「次へ」ボタンをクリック

<MA60J/M, MA50J/M, MA70J/S, MA55J/S, MA50J/S の場合>

NEC 3-mode Floppy(FDC37C675)

<MA60J/C, MA55J/C, MA50J/C, MA46H/C, MA46H/L の場合>

NEC 3-mode Floppy(LPC47B27x)

<MA46H/S の場合>

Winbond 3-mode Floppy Controller

20 「完了」ボタンをクリック
ファイルのコピーが始まります。

21 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

以上でフロッピーディスクドライバのセットアップは終了です。
次に「MS-DOSモード用CD-ROMドライバまたはCD-RWドライバのセットアップ」に進んでください。

MS-DOSモード用CD-ROMドライバまたはCD-RWドライバのセットアップ

MS-DOSモードでCD-ROMドライブを利用する場合は、次の手順でドライブをセットアップします。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブを利用しない場合は、「内蔵サウンド対応ドライブのセットアップ」に進んでください。

以降の説明では、CD-ROMドライブを例に説明しています。CD-RWモデルを使用している場合は、「CD-ROMドライブ」を「CD-RWドライブ」に「CD-ROMドライブ」を「CD-RWドライブ」に読み替えてください。



この場合のMS-DOSモードとは「Windowsの終了」の画面で「MS-DOSモードで再起動する」を選択した場合を指します。

1 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック

3 MS-DOSプロンプトで、次のように入力する

Q: [Enter]
CD \WIN98\CDROM [Enter]
RCDROM.BAT [Enter]
EXIT [Enter]

4 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

5 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック

6 MS-DOSモードで、次のように入力する

SETCD /A [Enter]

EXIT [Enter]

MS-DOSモードからWindowsに戻ります。

7 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

8 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリック

MS-DOSモードでCD-ROMドライブが使えるようになります。

次に「内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ」に進んでください。

内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

■ MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/Sの場合

1 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック

3 MS-DOSプロンプトから次のように入力する

C: [Enter]

CD\ [Enter]

MD UPSOUND [Enter]

COPY Q:\WIN98\YMF740*.＊ C:\UPSOUND [Enter]

EXIT [Enter]

4 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

5 「システム」をダブルクリック

6 「デバイスマネージャ」タブをクリック

7 次のデバイスが存在する場合はクリックし、「削除」ボタンをクリック

- ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「YAMAHA DS-XG Device Manager」
- ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「YAMAHA DS-XG PCI Audio CODEC」
- ・「YAMAHA DS-XG Devices」の「YAMAHA DS-XG Device Manager」
- ・「YAMAHA DS-XG Devices」の「YAMAHA DS-XG PCI Audio CODEC」
- ・「その他のデバイス」の「PCI Multimedia Audio Device」

 **チェック!!** 「デバイス削除の確認」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

8 「システムのプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリック

9 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

10 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック

11 MS-DOSモードから次のように入力する

C: 【Enter】
CD \UPSOUND 【Enter】
UPSOUND 【Enter】

12 「処理が完了しました。再起動してください。」というメッセージが表示されたら、次のように入力する

EXIT 【Enter】
Windowsが再起動します。

 **チェック!!** 「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」を要求するメッセージが表示された場合は、「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、CD-ROMを認識後、「OK」ボタンをクリックしてください。

13 「ディスク'YAMAHA DS-XG PCI Audio Device Disk'が必要で
す」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

14 「新しいハードウェア」の画面が表示されたら、「ファイルのコ
ピー元」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:\UPSOUND

15 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」を
クリック

MS-DOSプロンプトから次のように入力する

C: [Enter]

CD\ [Enter]

DELTREE /Y UPSOUND [Enter]

EXIT [Enter]

以上でサウンドドライバのセットアップは終了です。

MS-DOSモードのサウンド機能はセットアップ直後の設定では有効に
なっていません。MS-DOSモードでサウンド機能を利用する場合は、「●
サウンド機能をMS-DOSモードで利用する場合」に進んでください。

MS-DOSモードでサウンド機能を利用しない場合は、「ソフトウェアパ
ワーOFF機能のセットアップ」(P.164)に進んでください。

●サウンド機能をMS-DOSモードで利用する場合

MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/Sをお使いの方で、MS-DOSモードにおいて、サウンド機能を使用する場合は、次の設定方法に従って設定を行なってください。なお、Windows 98 のMS-DOSプロンプトではサウンド機能は使用できません。



この場合のMS-DOSモードとは、次の2種類を指します。

- ・「Windowsの終了」の画面で「MS-DOSモードで起動する」を選択した場合
- ・「Microsoft Windows 98 Startup Menu」で「5.Command Prompt only」を選択した場合

1 C:\AUTOEXEC.BAT および C:\WINDOWS\DOSSTART.BAT の2つのファイルの最後に、次の3行を追加する

<追加内容>

```
@COPY C:\DS-XG\DOS4GW.EXE > NUL  
@C:\DS-XG\SETUPDS.EXE /s > NUL  
@DEL DOS4GW.EXE > NUL
```



チェック!!

追加には、メモ帳、ワードパッド等のエディタを使用してください。エディタの使用方法については、エディタのヘルプを参照してください。

以上で設定は終了です。

次に「ソフトウェアパワーOFF機能のセットアップ」(P.164)に進んでください。

■ MA46H/Sの場合

- 1 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする
 - 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック
 - 3 MS-DOSプロンプトから次のように入力する
MD C:\UPSOUND [Enter]
COPY Q:\WIN98\AD1881*. * C:\UPSOUND [Enter]
EXIT [Enter]
 - 4 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
 - 5 「システム」をダブルクリック
 - 6 「デバイスマネージャ」タブをクリック
 - 7 次のデバイスが存在する場合はクリックし、「削除」ボタンをクリック
 - ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「SoundMAX Integrated Digital Audio」
 - ・「その他のデバイス」の「PCI Multimedia Audio Device」
-  **チェック!!** 「デバイス削除の確認」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。
- 8 「システムのプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリック
 - 9 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
 - 10 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック

11 MS-DOSモードから次のように入力する

<Windows 98 Second Editionの場合>

C: [Enter]

CD \UPSOUND [Enter]

UPDATE [Enter]

<Windows 98の場合>

C: [Enter]

CD \UPSOUND [Enter]

UPSOUND [Enter]

12 「処理が完了しました。再起動してください。」というメッセージが表示されたら、次のように入力する

EXIT[Enter]

Windowsが再起動します。



チェック!!

「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」を要求するメッセージが表示された場合は、「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、CD-ROMを認識後、「OK」ボタンをクリックしてください。

13 「ディスクの挿入」画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリック

14 「ファイルのコピー元」に「C:\UPSOUND」と入力し、「OK」ボタンをクリック



チェック!!

「ksclockf.axが見つかりませんでした」というメッセージが表示された場合は、「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「Q:\WIN98」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

15 ファイルコピー終了後、「完了」ボタンが表示された場合は、「完了」ボタンをクリック

Windows 98 Second Editionの場合は、手順20へ進んでください。

16 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック

17 「C:\UPSOUND」フォルダの「ICH.INF」ファイルを右クリックし、メニューから「インストール」をクリック

18 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

19 「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック

20 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック

21 MS-DOSプロンプトから次のように入力する

```
C: [Enter]
CD \ [Enter]
DELTREE /Y UPSOUND [Enter]
EXIT [Enter]
```

以上で内蔵サウンド対応ドライバのセットアップは終了です。

次に「ソフトウェアパワー-OFF機能のセットアップ」(P.164)へ進んでください。

■ MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合

1 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック

3 MS-DOSプロンプトから次のように入力する

```
C: [Enter]
CD\ [Enter]
MD UPSOUND [Enter]
COPY Q:\WIN98\YMF752V\*. * C:\UPSOUND [Enter]
EXIT [Enter]
```

4 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

5 「システム」をダブルクリック

6 「デバイスマネージャ」タブをクリック

7 次のデバイスが存在する場合はクリックし、「削除」ボタンをクリック

- ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「YAMAHA AC-XG Audio Device」
- ・「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」の「YAMAHA AC-XG Audio」
- ・「その他のデバイス」-「PCI Multimedia Audio Device」

✓ **チェック!!** 「デバイス削除の確認」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

8 「システムのプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリック

9 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

10 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック

11 MS-DOSモードから次のように入力する

C: [Enter]
CD \UP SOUND [Enter]
UP SOUND [Enter]

12 「処理が完了しました。再起動してください。」というメッセージが表示されたら、次のように入力する

EXIT [Enter]
Windowsが再起動します。

✓ **チェック!!** 「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」のセットを要求するメッセージが表示された場合は、CD-ROMドライブに「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」をセットし、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 13 「ディスク'Yamaha AC-XG PCI Audio Device Disk'が必要です」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 14 検索方法で「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 15 「検索場所の指定」にチェックを付け、検索場所に「C : \UPSOUND」と入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 16 「次へ」ボタンをクリック
- 17 「完了」ボタンをクリック
- 18 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック
- 19 MS-DOSプロンプトから次のように入力する
C: [Enter]
CD\ [Enter]
DELTREE /Y UPSOUND [Enter]
EXIT [Enter]

以上で内蔵サウンド対応ドライバのセットアップは終了です。
次に「ソフトウェアパワーOFF機能のセットアップ」へ進んでください。

ソフトウェアパワーOFF機能のセットアップ

ソフトウェアパワーOFF機能を利用するためには、次の手順が必要です。



ソフトウェアパワーOFF機能とは、電源ボタンを押したとき、Windowsを終了し、電源を切る機能です。

- 1 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック

- 3 「Q:\WIN98\POWEROFF」フォルダの「NECPOWSW.INF」ファイルを右クリックし、メニューから「インストール」をクリック
- 4 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
- 5 「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
再起動後、設定が有効になります。

以上でソフトウェアパワーOFF機能のセットアップは終了です。次にUltra SCSIインタフェースボード(Wide対応)搭載モデルの場合は「Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)ドライバのセットアップ」へ進んでください。

その他のモデルの方は、これでWindows 98 Second EditionまたはWindows 98のセットアップは終了です。

電源管理モードを変更する必要がある場合は、「電源管理モードの利用(APM/ACPIモード)」に進んでください。



チェック!!

NetPCモデルをお使いの方は、「Windows 98 Second EditionおよびWindows 98のセットアップ」(P.129)の手順で作成した一時フォルダ(C:\WIN98TMP)を削除してください。

Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)ドライバのセットアップ

次の手順でドライバをセットアップします。

■ Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)を搭載してWindows 98 Second EditionまたはWindows 98をセットアップした場合

- 1 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「システム」をダブルクリック
- 4 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- 5 「SCSIコントローラ」の「Adaptec AHA-2940U/AHA-2940UW PCI SCSI Controller」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック

- 6 「ドライバ」タブをクリック
- 7 「ドライバの更新」をクリック
- 8 「デバイスドライバの更新ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 9 検索方法で「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 10 「検索場所の指定」のみチェックを付け、検索場所に「Q:\WIN98\UW-SCSI」と入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「次へ」ボタンをクリック
- 12 「完了」ボタンをクリック
- 13 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

以上で、Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)ドライバのセットアップは終了です。

これで、Windows 98 Second EditionまたはWindows 98のセットアップは終了です。

電源管理モードを変更する必要がある場合は、「電源管理モードの利用(APM/ACPIモード)」に進んでください。

■ Windows 98 Second EditionまたはWindows 98をセットアップした後でUltra SCSIインタフェースボード(Wide対応)を搭載した場合

- 1 Windows 98を起動する
- 2 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 3 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットする
- 4 検索方法で「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

- 5 「検索場所の指定」のみチェックを付け、検索場所に「Q\WIN98\UW-SCSI」と入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 6 「更新されたドライバ(推奨)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 7 「次へ」ボタンをクリック
- 8 「完了」ボタンをクリック
- 9 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

以上で、Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)ドライバのセットアップは終了です。

これで、Windows 98 Second EditionまたはWindows 98のセットアップは終了です。

電源管理モードを変更する必要がある場合は、「電源管理モードの利用(APM/ACPIモード)」に進んでください。

電源管理モードの利用(APM/ACPIモード)

本機では、電力を節約する機能を使うための電源管理のモードとして、APMモードとACPIモードの2つのモードを使うことができます。

ここでは、APM/ACPIモードの確認方法およびAPM/ACPIモード切り替え方法をそれぞれ説明しています。

用語 APMモード

APM(Advanced Power Management)を使って電源の管理を行うモードです。APMとはパソコンや周辺機器の電源の管理を、BIOSやデバイスドライバなどのソフトウェアで行うためのしくみです。

用語 ACPIモード

ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)を使って電源の管理を行うモードです。ACPIとは、パソコンや周辺機器の電源の管理をOSやデバイス、ドライバなどのソフトウェアで行うためのしくみで、Windows 98で実現できるようになりました。

APM／ACPIモードの確認方法

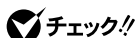
- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック
- 3 「システムのプロパティ」が表示されたら「デバイスマネージャ」タブをクリック
- 4 「システムデバイス」をクリック
以下の情報が表示されます。

APMモード のとき : アドバンスド パワーマネジメント サポート

ACPIモード のとき : ACPI *****

APMモードから ACPIモードへの切り替え

APMモードからACPIモードへ切り替える際には、Windowsに関して十分知識がある方が作業するようにしてください。



チェック!

- ACPIモードでは、パワーマネジメント管理用に割り込みを1つ使用します。ACPIモードへの切り替えは、使用していない割り込み (IRQ)を確認してから行ってください。
- モードの切り替えは、セットアップの直後に行ってください。
- APMモードからACPIモードに切り替えた後、ACPIモードからAPMモードに戻すにはWindows 98 Second EditionまたはWindows 98のセットアップが必要です。

- 1 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットする
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に「Q:\WIN98\ACPI\ACPI_APM.EXE」と入力し「OK」ボタンをクリック
- 3 「ACPIが無効です」というメッセージが表示されたら、「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」を CD-ROM ドライブに入れ替えて「OK」ボタンをクリック



チェック!!

- ・「ACPIが有効です」というメッセージが表示された場合は、すでにACPIモードで動作していますので「キャンセル」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックした場合は、以降の操作は不要です。CD-ROMを取り出してください。
- ・「ファイルのコピーに失敗しました。」と表示された場合は、Windowsフォルダの下に、すでに「ACPI_APM」フォルダが存在している可能性があります。「ACPI_APM」フォルダを削除して、手順1からやり直してください。

- 4 「ACPIを有効に設定する準備ができました」というメッセージが表示されたら、「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」を取り出し、「OK」ボタンをクリック



チェック!!

以降の手順を行っている途中で、「Windows 98 Second Edition CD-ROM」または「Windows 98 CD-ROM」を要求するメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックし、次のフォルダを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

C:\WINDOWS\ACPI_APM

- 5 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 6 「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」をダブルクリック
- 7 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「システムにあるプラグ アンド プレイ機器を検索します。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「インストールするデバイスは一覧にありますか？」というメッセージが表示された場合、「デバイスは一覧にない」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 10 「プラグ アンド プレイ以外の新しいハードウェアが自動的に検索されます。」というメッセージが表示されたら、「はい(通常はこちらを選んでください)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

11 「プラグアンドプレイで検出されなかった新しいデバイスを検索します。」というメッセージが表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

ハードウェアの検出が始まります。

12 「ハードウェアの検出が完了し、インストールの準備ができました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

13 「今すぐ再起動しますか」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

表示されるメッセージに従い、設定します。

以上でACPIモードへの切り替えは終了です。

ACPIモードに切り替えた時の注意事項

APMモードからACPIモードに切り替えた場合には、次のことに注意してください。

- ・ フロッピーディスクドライバ
1.2MBのフロッピーディスクが読み書きできません。
再度、「フロッピーディスクドライバのセットアップ」(P.152)の手順を行ってください。
- ・ キーボードの設定
USB98配列キーボードをお使いの場合、キーボードの設定が「106日本語(A01)」に変わってしまいます。切り替え完了後、「■USB98配列キーボードドライバをセットアップする」(P.136)をご覧ください。
- ・ ディスプレイの設定
「ディスプレイの設定に問題があります。」というメッセージが表示されることがあります。「OK」ボタンをクリックすると「画面のプロパティ」の画面が表示されますので、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。
また、ディスプレイの解像度が、640×480 16色に変更されることがあります。変更された場合は、解像度や色数を設定し直してください。
- ・ USBの設定
ACPIモードへ切り替え後、USB機器を使用する場合には、次の手順でUSBの設定を変更してください。

 **チェック!!** PCカードなどのオプション機器を外してから次の設定を行ってください。

- ①「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- ②「システム」をダブルクリック
- ③「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「ユニバーサル シリアルバス コントローラ」の「Intel82371 AB/EB PCI to USB Universal Host Controller」をダブルクリック
- ④「リソース」タブをクリックし、「手動設定」ボタンが表示された場合は、「手動設定」ボタンをクリック
- ⑤「自動設定を行う」にチェックを付ける
- ⑥「OK」ボタンをクリック
- ⑦「OK」ボタンをクリック
- ⑧「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
- ⑨再起動後、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- ⑩「システム」をダブルクリック
- ⑪「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「ユニバーサル シリアルバス コントローラ」の「Intel82371 AB/EB PCI to USB Universal Host Controller」をダブルクリック
- ⑫「リソース」タブをクリックし、「自動設定を行う」にチェックをはずす
- ⑬「リソースの種類」の「I/Oの範囲」をダブルクリック
- ⑭「値」フィールドに FCA0-FCBF を設定する
- ⑮「OK」ボタンをクリック
- ⑯「OK」ボタンをクリック
- ⑰「はい」ボタンをクリック
- ⑱「閉じる」ボタンをクリック
- ⑲「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
- ⑳「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック

以上で設定は終了です。

ACPIモード時の注意事項

ACPIモードでパワーマネジメント機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- ・ スタンバイ状態からの復帰中に電源スイッチを押すと、復帰後にパワーマネジメント機能が動作しなくなる場合があります。その場合には、一度スタートメニューのWindowsの終了から再起動するを選択し、本機を再起動させると正常に動作するようになります。
- ・ MS-DOSプロンプトが一番手前に表示されているときにスタンバイ状態にすると、スタンバイ状態から復帰させても画面が正常に表示されない場合があります。その場合には、【Alt】+【Tab】を押してタスクを切り替えることにより正常に動作するようになります。

トラブル解決 Q&A

本機を使っていて、何かトラブルが起きたときは、ここを読んでください。

この章の読み方

次ページの「トラブルが起きたとき」を読んで、どうしてそうなったかを考え、あてはまる項目を探してください。

この章の内容

トラブルが起きたとき	174
トラブルを解決するには(ヒント)	175
お問い合わせの前に (トラブルチェックシート)	178
電源を入れたが...	180
電源を切ろうとしたが...	184
サスペンド/レジューム機能を 使おうとしたら...	186
パソコンがこわれそう...	187
画面がおかしい...	189
音がおかしい...	189
マウスを動かしても...	190
文字を入力しようとしたら...	191
ファイルを保存しようとしたら...	192

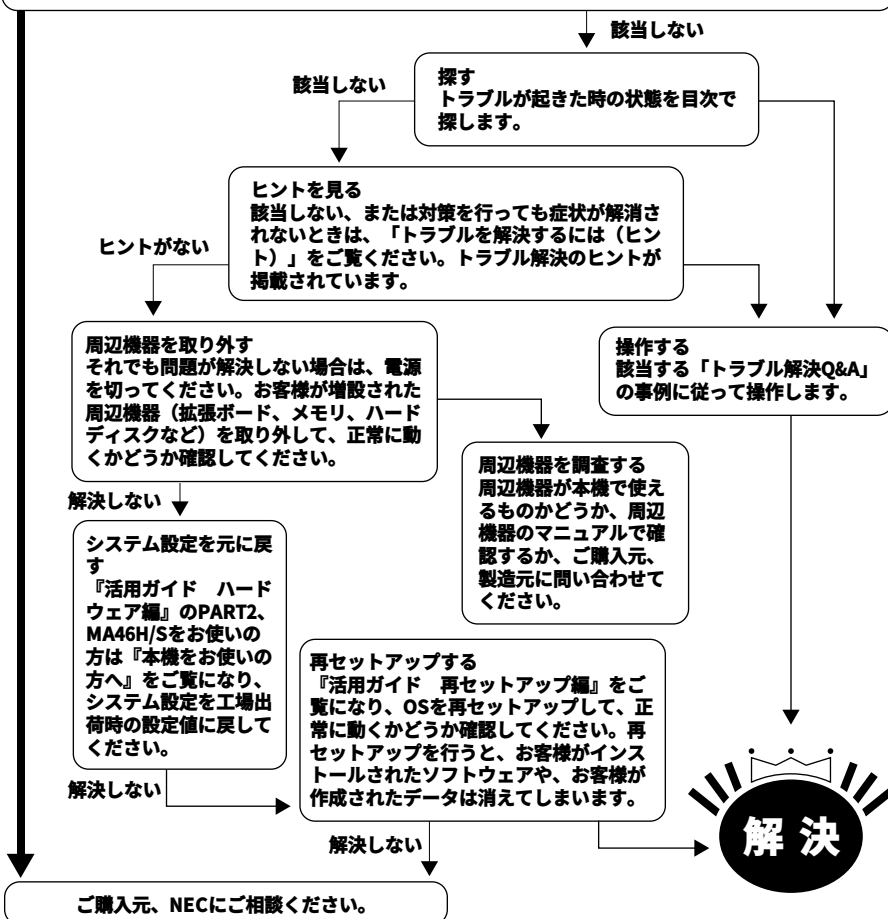
LAN(ローカルエリアネットワーク)に 接続しようとしたら...	192
イベントビューアにエラーが...	194
印刷しようとしたら...	194
フロッピーディスクなどを使っていたら...	196
ハードディスクを使っていたら...	197
CD-ROMを使っていたら...	198
周辺機器を取り付けようとしたら...	200
アプリケーションを使っていたら...	200
その他	203
コンピュータウイルス対策について	206
トラブルを予防するには...	208
アフターケアについて	209

トラブルが起きたとき

このマニュアルには多くのトラブル解消法が掲載されています。トラブルが起きたら、まずこのマニュアルを手がかりに次の手順で解決法を見つけてください。

トラブルが起きたら、このマニュアルをご覧ください

煙や異臭、異常音が出た場合、すぐに電源を切って電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。それ以外のトラブルの場合は下へ進んでください。



トラブルを解決するには(ヒント)

パソコンは、さまざまなアプリケーションや周辺機器を組み合わせで使うので、予期しないトラブルが発生することがあります。

トラブルをうまく解決するためには、いくつかのポイントがあります。

● 落ちついて対処する

あわてて、電源を切ったり、マウスで何度もクリックしたりしないでください。

パソコンが反応していない(フリーズした)ように見えても、アプリケーションなどの処理に時間がかかっているだけのこともあります。その場合は処理が終わるまでしばらく待ってください。

◆ 用語 フリーズ(ハングアップ)

どんな操作をおこなっても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなる。アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起こることがあります。ウィンドウを動かしたり、文字を入力することはできないが、マウスだけは動かせるということもあります。ハングアップともいいます。

● メッセージが表示されているときは書きとめる

番号や英語など、意味がわからないものも解決の糸口になることがあるので、紙に書き留めてください。

● 原因が何か考える

原因になったのが、パソコン本体なのか、周辺機器なのか、アプリケーションなのか、もっとほかのものなのか考えてください。原因を特定できないことも多いのですが、原因がわかると対処しやすくなります。周辺機器に原因があるときは、1つずつ取り外して、トラブルが起きた操作をやり直すと、どれに関連したトラブルなのかわかります。

● Windows NTのヘルプ

「スタート」ボタン→「ヘルプ」をクリックして、Windows NTのヘルプをご覧ください。

● 「トラブル解決 Q&A」の中から、あてはまるトラブルを探す

あなたのトラブルにあてはまる項目があったら、そのページを読んでください。

● **ほかのマニュアルやヘルプ、Readmeファイルを見る**

あなたのトラブルに関連する記述がないか探してください。アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのアプリケーションのマニュアルやヘルプを見てください。

また、アプリケーションには、Readmeファイルがついていることが多く、そこには、マニュアルやヘルプに掲載していない重要な情報が載っていることがあります。ワードパッドなどのワープロで開いて、読んでください。

本機には、次のようなREADMEファイルがあります。

- ・ 本製品のご利用にあたっての補足説明
「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」
- ・ Windows NTについての追加情報
C:\WINNT\SYSTEM32\README.WRI
- ・ 「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」内の
Windows NT 4.0の本機対応ドライバについての補足事項
\\NT40\README.TXT
- ・ サービス パック 5の補足説明
「スタート」ボタン→「プログラム」→「Service Pack 5」→「Service Pack 5について」

● **システム設定を元に戻す**

『活用ガイド ハードウェア編』の「PART2 システム設定」、MA46H/Sをお使いの方は、『本機をお使いの方へ』をご覧になり、システム設定を工場出荷時の設定値に戻してください。

● **システムを修復する**

Windows NTが起動できなくなった場合、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧になり、システムを修復してください。

●トラブルチェックシートに記入して問い合わせる

NECの問い合わせ先は『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

なお、お問い合わせの際には、どんなトラブルかを、「トラブルチェックシート」(P.178)に記入してください。必ず保証書を準備してください。型番や保守に重要な情報が記載されています。

本機と別に購入した周辺機器やメモリ、アプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。

本機に添付されていたものでも、アプリケーションの問題は、そのアプリケーションの問い合わせ先のほうが適切な回答をえられます。

＜本機に添付されているアプリケーションの問い合わせ先＞

- ・ 本機添付の『ソフトウェア使用条件適用一覧』の「添付ソフトウェアサポート窓口一覧」に従い、各社へお問い合わせください。
- ・ その他のアプリケーションについては、本機添付の『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。

このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、よりの確で迅速な答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート 1 あなたのパソコンの構成

■ハードウェア

本体	
型番（保証書に記載されています）	
製造番号（保証書番号）	
メモリの容量	MB(メガバイト)
ハードディスクの容量	GB(ギガバイト)
ハードディスクの空き領域	MB(メガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンピュータのハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。	
周辺機器	品名・型名（メーカー名）
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
ネットワークボード	
その他の周辺機器	

■ソフトウェア

OSのバージョンと発売メーカー
☐ Windows 98
☐ Windows NT（バージョン ）
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

●どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

●画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

●そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- ☐ パソコンを起動するたびに起きる
- ☐ そのアプリケーションを起動するたびに起きる
- ☐ 特定の操作を行うと起きる
- ☐ はじめて起きた

●その他に気付いたことがあれば書いてください。



電源を入れたが…

電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れます。



電源が入らない/ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイの電源ランプは点灯していますか？

本体の電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイのRGBケーブルが本体に正しく接続されていますか？

ディスプレイの輝度(明るさ)、コントラストが小さくなっていますか？

ディスプレイのマニュアルまたは、『はじめにお読みください』をご覧ください。

それでも問題が解決しない場合は、ディスプレイまたは本体の故障が考えられますので、購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス & サポートのご案内』『NEC PCあんしんサポートガイド』



NECロゴ表示後「WARNING 0251:システムCMOSのサムチェックが正しくありません。デフォルト値が設定されました」と表示された

システムの設定が不正となっている可能性があります。システムの設定を工場出荷時の状態に戻し、再起動してください。

参照

システムの設定を工場出荷時の状態に戻すには

→『活用ガイド ハードウェア編』『PART2 システム設定』『BIOS セットアップメニューについて』『工場出荷時の設定値に戻す』

MA46H/Sをお使いの方は『本機をお使いの方へ』『BIOSセットアップメニューについて』『工場出荷時の設定値に戻す』



電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

次の操作をしてみてください。

① マウスを動かすか、キーボードのキー([Shift]など)を押す

② 画面になにも表示されない場合は、電源スイッチを押す

電源を入れてしばらくすると画面が真っ暗になる場合、次の原因が考えられます。

・ ディスプレイの省電力機能が働いた

ディスプレイセットモデルをお使いの場合は、指定された時間内に何も操作しなければ、ディスプレイの電源を省電力モードにする機能があります。工場出荷時の状態では、15分に設定されています。上記の手順①で表示されるようになります。



参照 『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」 「ディスプレイ」 「ディスプレイの省電力機能について」

・ BIOSセットアップメニューによるサスペンド

本機では、指定された時間内に何も操作しなかったり、ハードディスクなどへのアクセスがなければ、サスペンド状態にする機能があります。

工場出荷時の状態では自動的にサスペンド状態にする設定はされていません。この設定は「BIOSセットアップメニュー」で変更できます。上記の手順②でレジュームします。



参照 『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」 「省電力の設定」
MA46H/Sをお使いの方は『本機をお使いの方へ』「Power Management Setup の設定」

・ Timer-NXによって本体の電源が切れた

Timer-NXのタイマプログラムまたはオフタイマー機能を利用すると、時間を指定して本体の電源を切ることができます。上記の手順②で電源が入ります。

上記の設定を変更すると、画面を真っ暗にする時間を変更したり、画面を真っ暗にしないようにすることができます。



「Checking file system on X:」と表示される(「X」の部分は使用環境によって異なる場合があります。)

Windows NT 4.0では電源を切る際、作業中のファイルをディスクに保存し直すなど、いくつか処理を行うようになっています。電源を切る処理が正しく行われなかった時にはこのようなメッセージが表示されます。メッセージの後、自動的にCHKDSKが実行されて、ハードディスクの内容がチェックされます。

ハードディスクに異常がなければ、Windows NT 4.0が起動し、その後は問題なくお使いいただけます。正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従ってください。もし、どうしてもWindows NT 4.0が起動しないなど再セットアップする必要がある場合は、再セットアップしてください。

参照

再セットアップ→『活用ガイド 再セットアップ編』



Windows NT4.0が起動しない

フロッピーディスクがドライブにセットされているときは、フロッピーディスクを取り出してから、電源を切り、もう一度電源を入れてください。(フロッピーディスクから起動したいときは、システムファイルが入ったフロッピーディスクと入れかえてから、電源を入れ直してください)

フロッピーディスクを取り出して再起動しても、Windows NT 4.0が起動しないときは、システムの設定が不正となっている可能性があります。システムの設定を工場出荷時の状態に戻し、再起動してください。

参照

システムの設定を工場出荷時の状態に戻すには→『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」「BIOSセットアップメニューについて」「工場出荷時の設定値に戻す」

MA46H/Sをお使いの方は『本機をお使いの方へ』「BIOSセットアップメニューについて」「工場出荷時の設定値に戻す」

それでもWindows NT 4.0が起動しないときは、ハードディスクのシステムファイルに異常が起きたことが考えられます。システムの再セットアップを行ってください。

参照

システムの修復、再セットアップ→『活用ガイド 再セットアップ編』



エラーメッセージが表示された

エラーメッセージを書き留めて、購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ元→『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』



キーボードエラーが表示される

① キーボードと本体の接続を確認する

液晶ディスプレイにキーボードを接続している場合は、キーボードと液晶ディスプレイの接続、液晶ディスプレイと本体を接続しているUSBケーブルの接続を確認してください。

参照

接続の確認→『はじめにお読みください』

② 電源の投入順序を確認する

参照

電源の投入順序→『はじめにお読みください』、『活用ガイド ハードウェア編』『PART1 本体の構成各部』『電源』



画面に何も表示されないまま、ピーピーという断続音がする

自己診断プログラムが画面の初期化を行う前にパソコン本体に異常を発見したときはピーピーという音がなります。このような場合は、お客様が増設された周辺機器を取り外してエラーが解決するかどうか確認してください。それでもエラーが表示される場合は、ご購入元にご相談ください。



チェック!!

ボリュームが小さくなっていると音は聞こえません。



パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

入力したパスワードが間違っていないですか？

正しいパスワードを入力してください。Windows NT 4.0では、パスワードは大文字、小文字を区別します。パスワードを入力する際は、キーボードの【Caps Lock】がロックされていないかどうか注意してください。



Windows NTのログオン時のパスワードを忘れてしまった

Administrator権限を持つユーザのパスワードを忘れてしまった場合は、Windows NT 4.0を再セットアップする必要があります。

また、Administrator以外のユーザーパスワードを忘れた場合は、Administrator権限を持つユーザでログオンし、「ユーザーマネージャ」でパスワードを変更することもできます。

ただし、ローカルマシンのAdministrator権限を持つユーザすべてのパスワードを忘れてしまった場合、Windows NT 4.0の設定のほとんどは変更できなくなってしまうので注意してください。

参照

再セットアップ→『活用ガイド 再セットアップ編』



別売の周辺機器を増設したら本機が起動しなくなった

本体と周辺機器が正しく接続されていますか？

割り込みレベルなどの設定に問題がありませんか？

周辺機器のマニュアルまたは、『ハードウェア拡張ガイド』「PART1 周辺機器を接続する前に」をご覧ください。



ユーザパスワードやスーパーバイザパスワードを忘れてしまった

『ハードウェア拡張ガイド』「PART5 付録」の「ストラップスイッチの設定」をご覧ください。



電源を切ろうとしたが…

本機の電源は必ず正しい手順で切ってください。正しい手順を守らないと、データやプログラム、本機がこわれてしまうことがあるので、特に注意してください。

参照

電源の切り方→『活用ガイド ハードウェア編』「PART 1 本体の構成各部」の「電源」



電源を切れない、強制的に電源を切りたい

正しい手順で電源が切れないときは、アプリケーションに異常が起きていると考えられます。次の「プログラムの強制終了」で電源を切ります。

プログラムの強制終了

【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Delete】を押すと、「Windows NTのセキュリティ」画面が表示されます。「タスクマネージャ」ボタンをクリックします。次に「Windows NTタスクマネージャ」の「アプリケーション」タブをクリックします。



「状態」に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「タスクの終了」ボタンをクリックします(このアプリケーションで編集していた文書、画像などは保存できません)。もう一度、「スタート」ボタン→「シャットダウン」を選択してください。

この方法でも電源が切れないときは、次の「強制的に電源を切る方法」で電源を切ります。

強制的に電源を切る方法

本機の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

なお、システムスイッチの設定を、「スリープボタン」に変更している場合には、電源スイッチを4秒以上押し続けても電源が切れず、1度サスペンド状態になる場合もあります(電源ランプがオレンジ色に点灯します)。その場合には、もう一度電源スイッチを4秒以上押し続けてください。電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、電源が切れるとランプが点灯しなくなります。

強制的に電源を切った場合は、再度電源を入れ直してください。CHKDSKが始まりシステムに異常がないか検証が始まります。システムに異常がない場合は、Windowsが起動しますので、再度正しい手順で電源を切ってください。

参照

システムスイッチの設定→『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」「省電力の設定」

MA46H/Sをお使いの方は『本機をお使いの方へ』「Power Management Setup の設定」



サスペンド/レジューム機能を使おうとしたら…

参照

サスペンド/レジューム機能→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」「電源」



電源スイッチを押してもサスペンドする前の状態の画面が表示されない(レジュームできない)

アプリケーションや周辺機器はサスペンド/レジューム機能に対応していますか？

対応していないアプリケーションや周辺機器でこの機能を使うと、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、サスペンド/レジュームは使わないでください。

電源ケーブルは正しく接続されていますか？

電源ケーブルをコンセントに接続します。

サスペンド中に停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？

サスペンド中に停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、サスペンドした内容は消えてしまいます。

電源ランプは点灯していますか？

サスペンド中に電源スイッチを約4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、サスペンドした内容は消えてしまいます。



パソコンがこわれそう…



本機から煙が出たり、異臭がしたりする

本機が、手で触れられないほど熱い

本機から異常な音がする

その他、本機および本機に接続されたケーブル類に、目に見える異常が生じた

このようなトラブルが発生した場合は、次の手順で対応してください。

- ① **すぐに電源を切って、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜く**
- ② **ご購入元、NECに相談する**



チェック!!

本機を安全に使用するための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。本機をお使いになるときは、必ず注意事項を守ってください。



キーボードに飲み物をこぼしてしまった

『活用ガイド ハードウェア編』「PART4 付録」の「本機のお手入れ」に従って、柔らかい布などでふき取ってください。

キーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。

乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』、『NEC PC あんしんサポートガイド』



ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。



安全ピン、クリップなど異物を本体内部に入れてしまった

すぐに電源を切り、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜き、購入元にご相談ください。



チェック!

そのまま使用すると、発煙、発火や故障の原因になります。



CD-ROMドライブから異常な音がする

CD-ROMにラベルを貼ったりしていませんか？

CD-ROMは高速回転していますので、ラベルを貼ると回転時にバランスがとれず、異常音が出ることがあります。「CD-ROMを使っていたら」をご覧ください。

参照

CD-ROMの取り扱い→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「CD-ROMドライブ」



画面がおかしい…

参照 『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」



画面の表示位置やサイズがおかしい

ディスプレイセットモデルのディスプレイを使っているとき

『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」、ディスプレイのマニュアルに従って、表示位置やサイズを見やすく調節してください。

別売りのディスプレイを使っているとき

ディスプレイで表示位置やサイズを調節できることがあります。詳しくはディスプレイのマニュアルを見てください。



音がおかしい…

異常な音がするときや、スピーカの音を調整したいときは、ここを見てください。

参照 音量の調整→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「サウンド機能」



ハードディスクから異常な音が出る

本機の内部から、ガリガリと物をひっかくような音がしたり、ガガガと引っ掛かるような音がしたとき

参照 「パソコンがこわれそう…」をご覧ください。

ハードディスクを使っているとき

ディスクランプの点滅と合わせて、本体より小さな音がする場合がありますが、これはハードディスクドライブの動作によるもので異常ではありません。ご心配の場合には、ご購入元にご相談ください。



ダイヤラーを利用時に音が出ない

ダイヤラーがボイス機能対応FAXモデムに対応していないのが原因です。ボイス機能対応のアプリケーションをご利用ください。



マウスを動かしても…

参照

『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「マウス」



マウスを動かしても、何も反応しない

マウスとキーボードおよびキーボードと本体との接続を確認してください

『はじめにお読みください』に従って、マウスとキーボードおよびキーボードと本体を接続し直してください。マウスのコネクタがキーボードから抜けていたり、キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと差し込まれていないとマウスの操作はできません。

しばらく待っても、マウスの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。保存していないデータはなくなります。

参照

強制終了の方法→「電源を切ろうとしたが…」の「プログラムの強制終了」(P.185)



マウスの動きが悪い

マウスの内部が汚れていませんか？

『活用ガイド ハードウェア編』「PART3 付録」の「本機のお手入れ」を見て、マウスの内部を掃除してください。



文字を入力しようとしたら…

参照

『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「キーボード」



キーボードのキーを押しても、何も反応しない

キーボードと本体との接続を確認してください

『はじめにお読みください』に従って、キーボードと本体を接続し直してください。

キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと奥まで差し込まれていないとキーボードの操作はできません。

しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。Windows NTの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。アプリケーションの強制終了ができない場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。このとき、アプリケーションで保存していなかった作業中のデータはなくなります。次に、キーボードと本体との接続を確認してください。

参照

強制終了の方法→「電源を切ろうとしたが…」の「プログラムの強制終了」(P.185)



記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

文字コード表は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「文字コード表」で開きます。



「~」(チルダ)を入力したい

【Shift】を押したまま、を押します。



「_」(アンダースコア、アンダーバー)を入力したい

【Shift】を押したまま、を押します。



ファイルを保存しようとしたら…

ソフトウェアで、文書や画像などのファイルを保存しようとして、うまくいかないときは、ここを見てください。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」、「フロッピーディスクドライブ」、「スーパーディスクドライブ」



ハードディスクに保存できない

ディスクの空き容量を確認してください

「ハードディスクの空き容量が足りない」(P.197)に従って空き容量を増やしてください。ディスクの空き容量よりもサイズが大きいファイルは保存できません。



CD-RWに保存できない

CD-RWドライブ搭載モデルの場合CD-RWにデータを保存するためには、本機添付のEasy CD Creator Lite またはDirectCDが必要です。

参照

Easy CD Creator Lite、DirectCD の追加方法→「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「Easy CD Creator Lite」、「DirectCD」



LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続しようとしたら…

LANの接続については、ネットワーク管理者に相談してください。
ネットワークを運用中は、リンクケーブルを取り外さないでください。

参照

Windows NTのヘルプ「ネットワークに関するトラブルシューティング」



ネットワークに接続できない

ネットワーク関連機能(サービス、プロトコル等)を新しく追加した後にサービスパックを適用するのを忘れていませんか？

イベントビューアに「Serverサービスは次のエラーのため終了しました。このコマンドを処理するのに必要な記憶領域をサーバ側で確保できません」とエラー表示されていたら、サービスパックを再度適用し、再起動してください。

参照

サービス パック 5のセットアップ→「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「この章の構成」「マイクロソフト ウィンドウズ NT サービスパック 5」について」(P.22)



ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない

接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の「ネットワーク」で調べることができます。



ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。



共有したファイルやフォルダが使えない

ネットワーク上で、本機と他のコンピュータとファイルを交換するためには設定が必要になります。

本機が共有を行う設定になっていない

共有するドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続されたほかのコンピュータから本機を利用するには、「共有する」の設定が必要です。

共有したいドライブまたはフォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

共有するドライブやフォルダにアクセス権が設定されている

共有するドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、まったく利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りも書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。



チェック!!

共有を設定した当初は「読み取り専用」の設定になっています。



イベントビューアにエラーが…



イベントビューアにエラーが登録される

ネットワークの設定や変更、サービスの追加を行った時に、イベントビューアに次のようなエラーが登録されることがあります。

「Serverサービスは、次のエラーのため終了しました。このコマンドを処理するのに必要な記憶領域をサーバーで確保できません。」

この場合は、サービスパック 5を再度インストールしてください。

参照

サービスパック 5のインストール→「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」「この章の構成」の「マイクロソフト ウィンドウズ NT サービスパック 5」について」(P.22)



印刷しようとしたら…

印刷がうまくいかないときは、その原因として、プリンタやケーブル、プリンタドライバ、アプリケーションの設定などが考えられます。1つずつ確認してください。

参照

プリンタの接続と設定方法→プリンタに添付されているマニュアル、『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」「ハードウェア環境の設定」

MA46H/Sをお使いの方は、『本機をお使いの方へ』「Peripheral Setupの設定」



プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

接続ケーブルがはずれていたり、接触不良を起こしていませんか？
プリンタのマニュアルに従って、本体とプリンタを接続し直してください。

プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか？
プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルに従って設定を確認してください。

プリンタのテスト印字はできますか？
プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか？
プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルを見てケーブルを確認してください。

プリンタ専用のプリンタドライバがインストールされていますか？
新しくプリンタを接続したときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。また、プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。プリンタのマニュアル、Windows NTのオンラインヘルプに従って設定してください。

本機のシステム設定を確認してください
パラレルポート(プリンタ)に関する設定があります。

参照 プリンタポートの設定→『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」「ハードウェア環境の設定」
MA46H/Sをお使いの方は、『本機をお使いの方へ』「Peripheral Setupの設定」

プリンタがLAN接続されていますか？
プリンタがLANに直接接続されている場合は、ルータおよびマルチポートリピータの電源を確認してください。プリンタがプリンタサーバに接続されている場合は、プリンタサーバにエラーが表示されていないか確認してください。



フロッピーディスクなどを使っていたら…

フロッピーディスクまたはスーパーディスクなどのリムーバブルディスクを使っていて問題が起きたときは、ここを見てください。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』『PART1 本体の構成各部』の「フロッピーディスクドライブ」、「スーパーディスクドライブ」



「マイコンピュータ」の3.5インチFDを開こうとしたが、スーパーディスクまたはフロッピーディスクの内容が表示されない

「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

フロッピーディスクを入れ直して再試行してください。同じメッセージが表示されたら、別売のクリーニングディスクを使ってヘッドをクリーニングしてください。クリーニングしても問題が解決しない場合は、別のフロッピーディスクを入れてみて、正常に内容が表示されるようであれば、元のフロッピーディスクが壊れていると考えられますので、復旧は困難です。

他のフロッピーディスクをセットしても内容が表示されないときは、フロッピーディスクドライブの故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』

クリーニング→『活用ガイド ハードウェア編』『PART4 付録』『本機のお手入れ』

「ディスクはフォーマットされていません」と表示されたとき

セットしたフロッピーディスクは、本機では読めないフォーマットのフロッピーディスクか、フォーマットされていません。

フロッピーディスクに必要なファイルが入っていないければ、「はい」ボタンをクリックし、フォーマットしてから使ってください。

参照

フロッピーディスクのフォーマット→Windows NTのヘルプ



本機に添付のフロッピーディスクを修復したい

参照

「添付品の修復、再入手方法について」(P.210)をご覧ください。



ハードディスクを使っていたら…



ハードディスクの動作速度が遅い

ハードディスクを長い間使っていると、データがディスクの空いている場所にばらばらに保存されるようになります。データが連続していないと、データを読み書きする時間が長くなります。このようなばらばらになったデータを最適な場所に整理するには別売のデフラグツールを使用して、「ハードディスクの最適化」を行ってください。

参照

ハードディスクの最適化→Windows NTのヘルプ



ハードディスクに障害が起きた

軽い障害であれば、エラーチェックプログラムを使って修復することができます。

参照

エラーチェックプログラムの実行方法→「活用ガイド ハードウェア編」
「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」



ハードディスクの空き容量が足りない

Windows NT のヘルプ「ディスクの空き領域に関するトラブルシューティング」をご覧ください。



ハードディスク容量、領域確保できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1Mバイト＝1,000,000バイト、1Gバイト＝1,000,000,000バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域確保するときやOSによっては、1Mバイト＝1,048,576バイト、1Gバイト＝1,073,741,824バイトで計算しているのので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」



ハードディスクのドライブ構成を変えたい

システムドライブの構成を変更する場合は、再セットアップを行います。再セットアップ時に領域の削除・作成ができます。

システムドライブ以外は、ディスクアドミニストレータで領域の削除・作成ができます。

参照

再セットアップの方法→『活用ガイド 再セットアップ編』
ディスクアドミニストレータの使用方法→Windows NTのヘルプ



CD-ROMを使っていたら…

CD-ROMを使おうとして問題があったときは、ここを見てください。

参照

CD-ROMのセットのしかた、CD-ROMドライブの使用上の注意→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「CD-ROMドライブ」



CD-ROMドライブのトレイを出し入れできない

本機の電源は入っていますか？

電源が入っているのに、トレイが出てこない場合は、『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「CD-ROMドライブ」に従って強制的に出してください。



CD-ROMのデータを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする

CD-ROM、音楽CDは正しくセットされていますか？

CD-ROM、音楽CDの表裏を確認して、本体のトレイの中心にセットしてください。

参照

CD-ROM、音楽CDのセットのしかた→『活用ガイド ハードウェア編』
「PART1 本体の構成各部」の「CD-ROMドライブ」

本機で使えるCD-ROMかどうか確認します

『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」
「CD-ROMドライブ」をご覧ください。

音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れしませんでしたか？

音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れすると、音飛びの原因となります。

音楽CDの再生中はフロッピーディスクを出し入れしないでください。



再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

動画データ再生中に、ほかのアプリケーションを実行していませんか？

他のアプリケーションを終了させてください。

メモ

動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか？

動画を再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。ウィンドウの大きさや位置を変えるときは、いったん動画の再生を停止してから行ってください。



周辺機器を取り付けようとしたら…

周辺機器を取り付けるときは、周辺機器のマニュアルを見て接続してください。

参照

周辺機器のマニュアル、『ハードウェア拡張ガイド』



PC-9800シリーズで使用していたプリンタやシリアル機器が使用できない

『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」「各部の名称」の「パラレルコネクタ」または「シリアルコネクタ1,2」をご覧ください。



PCIボードを取り付けたが動作しない、PCIボードを取り付けたらパソコンが起動しなくなった、他の機能が使えなくなった

『ハードウェア拡張ガイド』「PART1 周辺機器を接続する前に」をご覧ください。



本機で使っている割り込みレベルを知りたい

『活用ガイド ハードウェア編』「PART4 付録」をご覧ください。



アプリケーションを使っていたら…

アプリケーションを使う前や使っていてトラブルが起きたときはここを見てください。



起動しなくなった、動作が遅い、動かなくなることがある

複数のアプリケーションを同時に起動したり、メモリをたくさん使うアプリケーションを使うと、メモリが不足し、新たにアプリケーションが起動できなかったり、動作が遅くなったり、動かなくなったりしてしまいます。

他のアプリケーションが起動している時は、それらを終了してからご使用ください。それでも起動できない、動作が遅い時は本機を再起動してください。

参照

メモリを増設するには→『ハードウェア拡張ガイド』



レジュームしない

そのアプリケーションはサスペンド/レジューム機能に対応していますか？

対応していないアプリケーションでこの機能を使うと、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、サスペンド/レジューム機能は使わないでください。

この機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。

参照

サスペンド/レジューム機能→『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「電源」



アプリケーションをインストールできない

システム管理者にご相談ください

アプリケーションのインストールは、必ずAdministrator権限を持ったユーザーで行ってください。本機にログオンしているお客様のアカウントがAdministrator権限を持っているかわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

アプリケーションが本機に対応しているか確認します

アプリケーションによっては、本機では動作しないものや、別売の周辺機器が必要な場合があります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

MS-DOS、または、Windows3.1用のアプリケーションをインストールしようとしていませんか？

MS-DOS、Windows 3.1用のアプリケーションの中には、Windows NT 4.0にはインストールできないものがあります。



本機で動作するアプリケーションについて知りたい

インターネットのホームページ「98Information」の「98AP情報」でアプリケーションの情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

ホームページに記載されていないアプリケーションについては各アプリケーションの製造元にご確認ください。



本機で使えるOSの種類を知りたい

本機にインストールされているWindows NT Workstation 4.0、別売のWindows NT Server 4.0、別売のWindows 98 Second Editionおよび別売のWindows 98です。

ただし、NetPCモデルでは、別売のWindows NT Server 4.0は使用できません。



Internet Explorer 3.02を使いたい

Internet Explorer 3.02は利用できません。



その他

これ以前のところで質問が見つからなかったときは、ここを見てください。

ここにも見つからないときは、「トラブルを解決するには」(P.175)の「ほかのマニュアルやヘルプ、Readmeファイルを見る」以降を見てください。



西暦2000年問題について知りたい

NECでは、インターネットのホームページ「98Information」の「西暦2000年対応状況」や「98AP情報」で、西暦2000年問題についての情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

なお、記載されている情報は更新されますので、定期的にアクセスして確認してください。

各アプリケーションが西暦2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。



用語 西暦2000年問題

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。西暦2000年を迎えた時に、アプリケーションによっては年号が00年になってしまい、日付をキーにする期間計算等の結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。これがコンピュータの西暦2000年問題です。



マニュアルをなくしてしまった

本機に添付されているNEC製のマニュアル『はじめにお読みください』、『活用ガイド ハードウェア編』、『ハードウェア拡張ガイド』、『活用ガイド ソフトウェア編』、『活用ガイド 再セットアップ編』は、購入することができます。なお、在庫状況によっては、ご期待に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お買い求めの際は、NEC PCマニュアルセンターへお問い合わせください。

- ・ 販売方法：電話・FAXによる通信販売
いただいたFAXに対するご回答は、翌営業日以降となります。

- ・ お申し込み先：NEC PCマニュアルセンター
(電話) 03-5476-1900
(FAX) 03-5476-1967
営業時間：月～金曜日
AM10:00～12:00 PM1:00～4:00
(土日祝日年末年始を除く / FAXは24時間受付)

取り扱い品目などの詳細はホームページ上でご案内しております。
ホームページアドレス：<http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/>

なお、再セットアップに必要なプロダクトIDが印刷されているマニュアル(『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』など)は再入手できませんので、紛失しないように十分ご注意ください。
マニュアルの書名やパソコンの型名、プロダクトIDなどは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。



次のホームページ(PICROBO)では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っています。
<http://download.pc98.nec.co.jp/m/NX/index.htm>



本機を海外で使いたい

海外では使えません。



テレビやラジオに雑音が入る

テレビ、ラジオや他の電子機器は、本機から遠ざけてください。また、本機は、それらの機器とは別のACコンセントにつないでください。



日付や時刻がずれる

本機内蔵のカレンダー時計は、電池(交換不要)により電源を供給されており、電源を切っても動いています。日付と時刻を設定してもなお日付や時刻がずれる場合は、ご購入元にご連絡ください。



本機を廃棄したい

本機の所有者が事業者の場合には、本機を廃棄するときにマニフェスト（廃棄物管理票）の発行が義務づけられています。廃棄方法およびマニフェストに関しましては、各都道府県産業廃棄物協会へお問い合わせください。

なお、本機の所有者が個人の場合には、マニフェストの発行義務はありません。廃棄方法に関しては、市町村等の各自治体にお問い合わせください。



コンピュータウイルス対策について

ここでは、コンピュータウイルスの予防法と発見時の対処方法について説明しています。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

インターネットや電子メール上のやりとり、フロッピーディスクやCD-ROMの受け渡しなど、さまざまなかたちでコンピュータウイルスに感染する可能性があります。パソコンをコンピュータウイルスから守るには、次の点に注意してください。

- ・ 出所が不明なフロッピーディスクやCD-ROM、プログラムは使用しない
- ・ 入手したデータやプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
- ・ インターネットやパソコン通信から、むやみにデータやプログラムをダウンロードしない
- ・ 覚えがない電子メールや添付ファイルは開かず削除する
- ・ ウイルス検査は定期的に行う
- ・ ワクチンソフトは最新版になるように定期的に更新する

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション「VirusScan for Windows NT」が添付されています。

参照

「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「VirusScan for Windows NT」(P.59)

コンピュータウイルスを発見したら

ウイルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが確実な方法です。削除できないファイルの場合は、「VirusScan for Windows NT」などのウイルス除去機能があるアプリケーションで、そのファイルのウイルスを削除してください。

また、二次感染を防ぐため、ウイルスが発見された場合は、使用した媒体（フロッピーディスク、スーパーディスク、ハードディスク、MOディスクなど）をすべてウイルス検査する必要があります。

コンピュータウイルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウイルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)。届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の被害者対策のための貴重な情報となりますので積極的に報告をしてください。

届け出先： 情報処理振興事業協会(通称IPA)
セキュリティセンターウイルス対策室

本部: 〒113-6591 東京都文京区本駒込 2-28-8
文京グリーンコート センターオフィス16階
IPAセキュリティセンターウイルス対策室

電話 03-5978-7509 FAX 03-5978-7518

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>



トラブルを予防するには…

●電源は、正しい順序で入れる／切る

『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「電源」をご覧ください。

●大切なデータはバックアップをとっておく

パソコンを使っていると、うっかりファイルを消してしまったり、ドライブが故障してしまったりと、大切なデータをなくしてしまうことがあります。そんなときにもフロッピーディスクやMOディスクにデータをコピーして予備のデータをとっておくと安心です。

また、本機に添付されている「バックアップCD-ROM(OSを除く)」を使用して再セットアップする場合には、ご自分でハードディスク内に作成されたデータやインストールされたアプリケーションは、すべて消去されます。必ず再セットアップする前に、これらのデータをバックアップしてください。

バックアップを取る方法は、「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「Masty Data Backup」(P.70)をご覧ください。

●エラーチェックツール使って定期的にハードディスクのメンテナンスを行う

エラーチェックツールを使って、定期的にハードディスクドライブにエラーがないかどうかを調べてください。エラーチェックツールは、次の方法で起動することができます。

Windows NTエクスプローラで、エラーチェックするハードディスクをマウスの右ボタンでクリックし、「プロパティ」をクリックします。次に「ツール」タブをクリックします。

●改造をしない

本機添付のマニュアルに記載されている方法以外で、本機の改造や修理をしないでください。マニュアルに記載されている方法以外で改造や修理をした製品については、当社のサービスの対象外となる場合があります。

●あらかじめシステム修復ディスクを作っておく

Windows NTのrepairディレクトリ内の情報ならびに「システム修復ディスク」の情報は、常に最新の情報になるようにしてください。最新の構成情報がシステム修復時に反映されていないと、修復時に予期せぬエラーを引き起こす場合があります。構成情報を最新にするには、rdisk.exeを使用してください。使用方法については、Windows NTのオンラインヘルプ「修復ディスクユーティリティのヘルプ」をご覧ください。

アフターケアについて



保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、Bit-INN、NECのサービスセンター、サービスステーションで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは、『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』または本書をご覧ください。



消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次の通りです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても有料です。	フロッピーディスク CD-ROM
消耗部品 (有償交換部分)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗または劣化し、修理再生が不可能な部分です。NECサービスセンター、サービスステーションなどで交換し、お客さまに部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	CRTディスプレイ (ブラウン管) 液晶ディスプレイ ※いずれもディスプレイがセットになっているモデルのみ。

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。



添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものについては、修復または再入手が可能です(有料)。

フロッピーディスクの修復、CD-ROMの再入手についてのお問い合わせ先は、添付の『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

- ・ フロッピーディスク
- ・ CD-ROM



本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。

また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きに従って、「正規登録ユーザ(98OFFICIAL PASSメンバー)」へのご登録を行ってください。

パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。

譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)される場合は、以下の条件を満たす必要があります。

- ① 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
- ② 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- ③ 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後、譲渡すること(本体に添付されている『ソフトウェア使用条件適用一覧』をご覧ください)

※ 第三者に譲渡(売却)される製品をご登録されている場合は、98OFFICIAL PASS登録センター(TEL:042-333-5516)までご連絡の上、必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けられるお客様へ

「正規登録ユーザ(98OFFICIAL PASSメンバー)」へのご登録に必要な以下の事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。ただし、『98OFFICIAL PASSお客様登録申込書』が未使用で残っている場合は、その申込書をご返送ください。

記載内容

- ① 本体型名および保証書番号
(本機背面に記載の型名および製造番号)
または
(本機低部に記載の型名および製造番号)
- ② 以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号
- ③ あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル)

NEC

98OFFICIAL PASS登録センター係行



活用ガイド ソフトウェア編

PC98-**NX** シリーズ

Mate NX

(Windows NT 4.0 インストールモデル)

二版 2000年1月

NEC

P



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙（古紙率：表紙50%、本文100%）を使用しています。